

市町村名		与那国町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 - 地域振興対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 3 - (12) - ア		
	担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 - 1 - (1)	
事業内容	既存の観光イベントの参加促進と、他の体験型観光メニューとの連携を図り、かつ、各種広報媒体等による「情報発信」体制を構築し、観光客のニーズを十分に考慮した滞在型観光地であることの周知により観光客等の誘客と滞在時間の長期化を促進した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	8,700	9,950			
		(b)予算現額	4,640	6,581			
		(c)増減額(b-a)	4,060	3,369			
		(d)繰越額	-	-			
	A. 計(b+d)		4,640	6,581			
	B. 執行済額		4,640	6,581			
	うち交付金充当額		3,712	5,265			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		当初計画していたカジキ釣り大会の打ち上げ花火が実施できなかったため事業費が減となった、しかし、その他の事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	カジキ釣り大会の実施	目標	(カジキ釣り大会の実施)	(カジキ釣り大会の実施)	()	()	
		実績	カジキ釣り大会の実施	カジキ釣り大会の実施			
	一周マラソン大会の実施	目標	(一周マラソン大会の実施)	(一周マラソン大会の実施)	()	()	
		実績	一周マラソン大会の実施	一周マラソン大会の実施			
達成状況説明	日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会及び「与那国島一周マラソン大会」において、これまでに無かった各種イベント及びアトラクション等を実施したことにより、参加者及び住民並びに観光客(来島者)と一体となってイベントに参加し、PR等の効果が得られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	カジキ釣り大会の参加者数 イベント開催月入域観光客数	目標	(82人)	(83人)	(110人 3,000人)	()	()
		実績		83人	109人 2,148人		
	一周マラソン大会の参加者数 イベント開催月入域観光客数	目標	(357人)	(459人)	(459人 3,000人)	()	()
		実績		459人	529人 2,742人		
	進捗状況説明	「日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会」及び「与那国島一周マラソン大会」において、これまでに無かった各種イベント及びアトラクション等を実施したことにより、既存イベントの参加促進と、観光客等の誘致と滞在時間の長期化を促進することができた。今後さらにイベントの充実化に取り組むことによって、PR等情報発信などを効果的に実施し、誘客促進につなげる。					

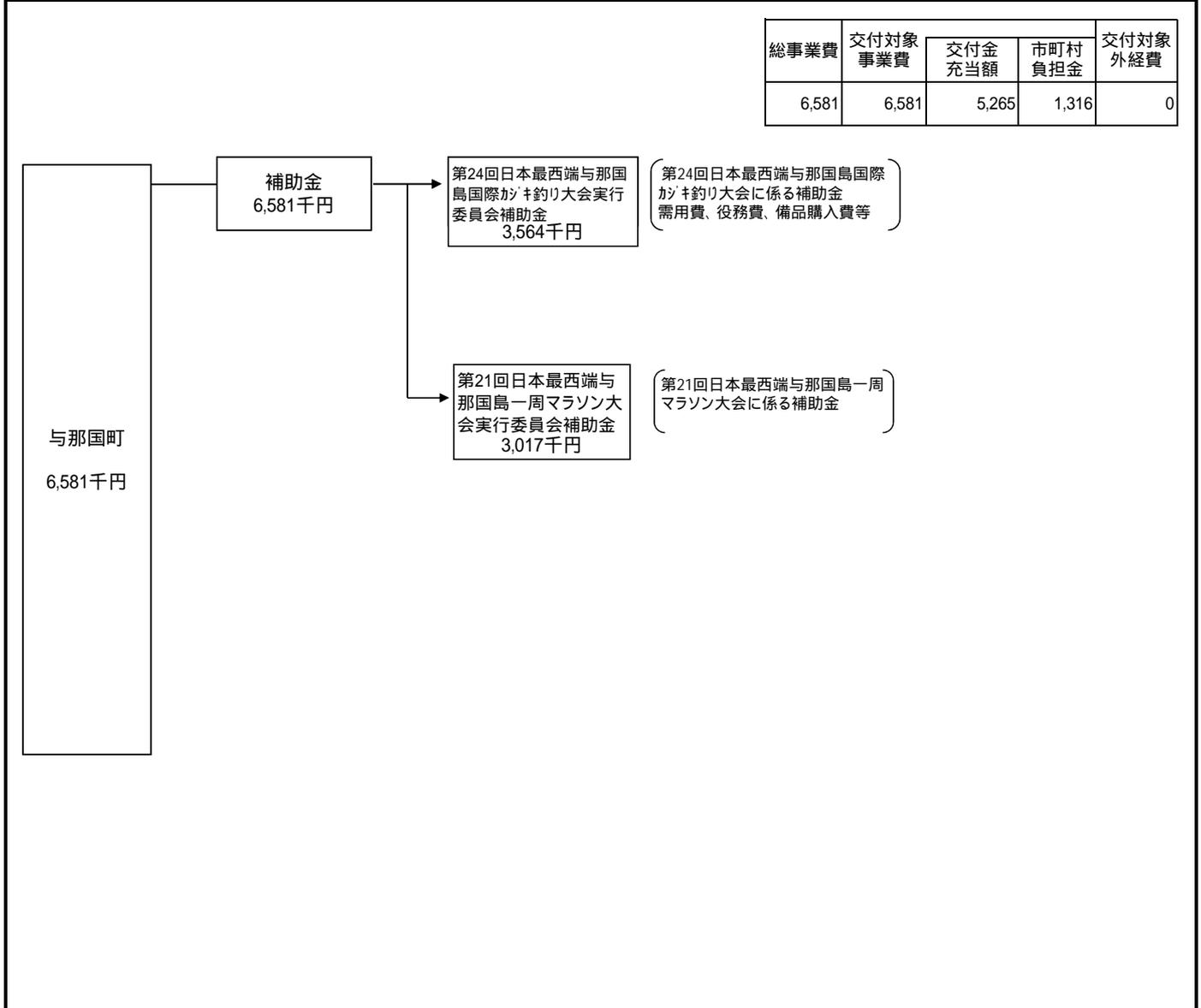
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本最西端与那国島国際カジ釣り大会」において、スタートフィッシング後の主会場におけるサブイベント等が充実しておらず昼間の空き時間におけるイベント等の充実を図ることが必要である。 ・「与那国島一周マラソン大会」においては、マラソン大会のPR活動に取組み大会参加者の増加の促進につなげる必要がある。 	<p>各大会参加者や観光客等及び地域のニーズを十分に考慮した、多様なイベント等を検討し、島の豊富な自然資源・景観・伝統文化・伝統芸能に触れ、体験できるイベント等の充実を図により、各大会への参加の促進、観光客等の増加につなげて行く。</p>

今後の取り組み方針

・「日本最西端与那国島国際カジ釣り大会」においては、昼間の空き時間における新たなイベント等を検討し、既に定着しているイベントとの連携を図ることで、観光客等の誘客と滞在時間の長期化を促進し、地域振興に結び付ける。

・「与那国島一周マラソン大会」においては、Webサイトや旅行会社等と連携した各種広報媒体等を活用したPR体制を構築し、より広い周知を行い大会参加者の促進につなげる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>カジ釣り大会及び一周マラソン大会実行委員会からの補助金交付申請により事業内容を確認の上で決定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		与那国町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 -	与那国町観光ガイドブック作成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (12) - ア	
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 - 1 - (1)		
事業内容	現状に見合ったガイドマップを作成し、観光ニーズに対応しさらにPR活動等を実施した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	1,850				
		(b)予算現額	1,848				
		(c)増減額(b-a)	2				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	1,848				
	B.執行済額		1,848				
	うち交付金充当額		1,478				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・減額が2千円発生しているが、入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	与那国町観光ガイドマップの作成	目標	(ガイドマップの作成)	()	()	()	
		実績	ガイドマップの作成				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	現状に見合った観光関連事業者等の情報などを記載し、また、PR並びに誘発を図ることによって来島者等への利便性などにつながれた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	与那国町観光ガイドマップの配布	目標	()	(50,000部)	()	()	()
		実績		50,000部			
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	観光協会、商工会、観光関連団体などへ配布し、現状に見合った観光関連情報を発信することができた。また、来島者への利便性並びに観光情報を常に最新に保つ事により、今後、PRやキャラバン等に活用し来島者の増へつなげ、与那国島地域活性化を目指す。					

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	今回ガイドマップ作成に伴いベースとなる観光情報が多少異なっていた事もあり現状に見合ったガイドマップ作成の必要がある。また、観光協会と連携を強化するとともによりよい観光情報などを発信する必要がある。	定期的にベースとなる観光情報を見直す事によって、来島者等への利便性を図る。また、観光協会との連携を強化することで観光情報の充実化に努める。
	今後の取り組み方針	
今後ガイドマップをPR並びにキャラバン等に活用する事によって来島者等への利便性を図る。また、観光協会との連携を強化するとともに観光関連の充実化を図っていく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,848	1,848	1,478	370	0

```

graph LR
    A[与那国町  
1,848千円] --> B[委託料  
1,575千円]
    B --> C[有限会社 シーイービー-inc  
1,848千円]
    subgraph Note
    C --- D[与那国町観光ガイドマップ作成  
にかかる委託業務]
    end
  
```

資金の流 れ、費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		与那国町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 - 久部良バリ観光地駐車場整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 3 - (12) - ア		
	担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 - 1 - (1)	
事業内容	利便性と安全性が確保された景勝地を提供し観光客が安心して利用できる環境を整備するため、久部良バリへのアクセス路および駐車場の整備を実施した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	35,000				
		(b)予算現額	37,559				
		(c)増減額(b-a)	2,559				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	37,559				
	B.執行済額		37,559				
	うち交付金充当額		30,047				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		増額が2,559千円発生しているが、当初計画していた工事内容(産業廃棄物処理費の追加)の変更に伴う増額であり、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	久部良バリアクセス路及び駐車場整備	目標	アクセス及び駐車場整備の実施	()	()	()	()
		実績	アクセス及び駐車場整備の実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	久部良バリ景勝地へのアクセス路(アスファルト路)及び駐車場の整備を図り、利用者の利便性、安全性が確保された観光地の提供が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	久部良バリ観光地駐車場整備の整備	目標	()	アクセス路及び駐車場整備	()	()	()
		実績		アクセス路及び駐車場整備			
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	久部良バリ駐車場整備工事実施し、利便性と安全性が確保された景勝地として島内及び島外へも広くPRし観光客の増加に繋げる。					

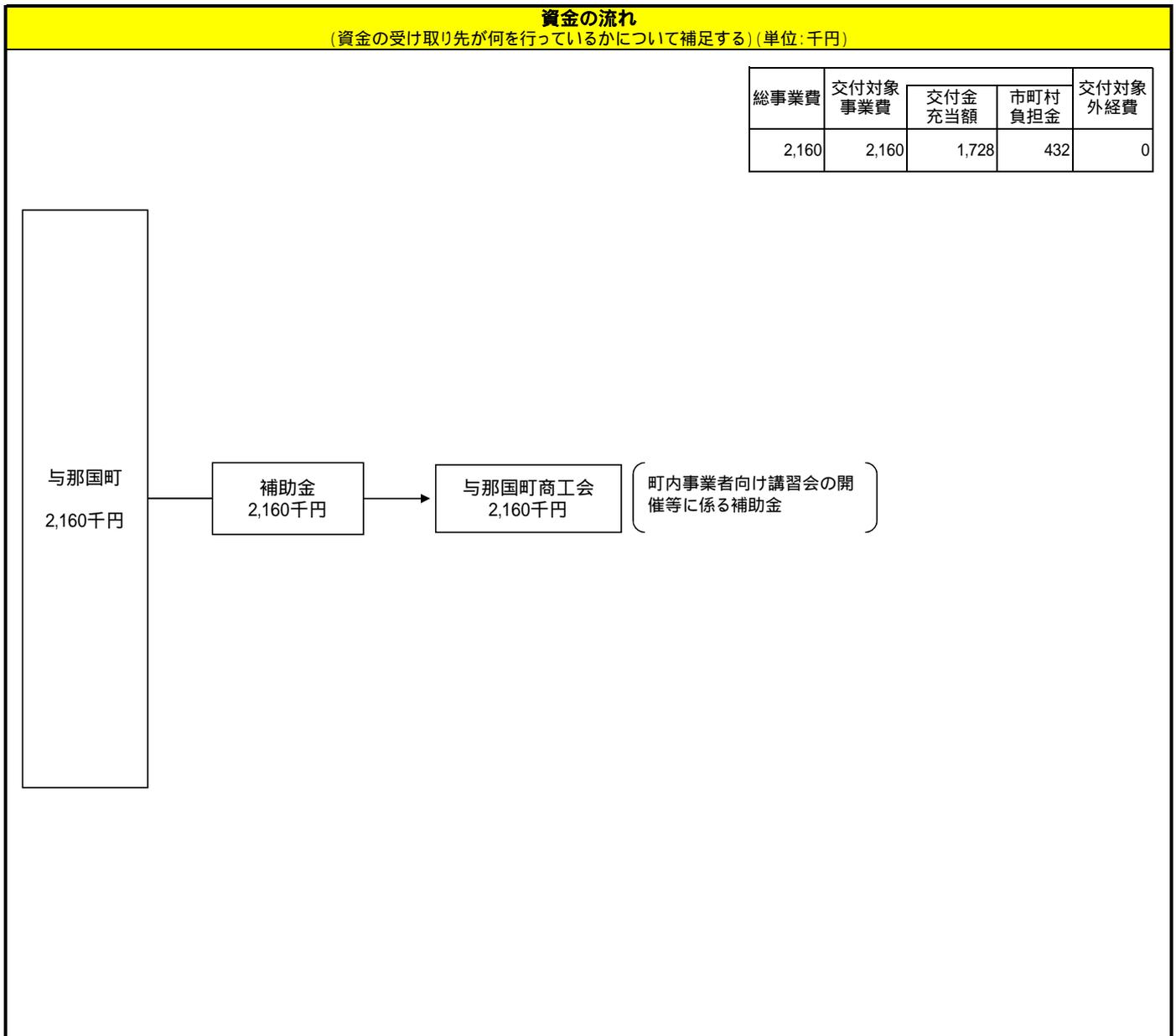
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	観光地として利便性及び安全性及び景観等を考慮した整備を行うことにより、住民と行政が協力し魅力的な観光地整備を推進する必要がある。事業執行にあたり、観光地として利便性及び安全性及び景観等を考慮した整備を行ったことにより、より多くに町民や観光客等に利用される観光地の提供ができる。	利便性及び安全性及び景観等を考慮した観光地が整備されたことで、これまで以上に利用者が安心、安全に利用できる観光地をアピールを図り、更なる入域観光客増に繋げて行く。
今後の取り組み方針		
利便性及び安全性が確保された久部良バ리를より多くの町民や観光客等に周知拡大し、利用者が安心して利用できる観光地の推進を図り、通年を通して適切な維持管理を行っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	37,559	37,559	30,047	7,512	0
<pre> graph LR A[与那国町 37,559千円] --> B[工事費 37,559千円] B --> C[有限会社 與那覇工務店 37,559千円] subgraph Note D[久部良バリ観光地駐車場整備 にかかる工事] end C --- Note </pre>					

資金の 用途の 流れ、 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	工事請負業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		与那国町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 -	与那国町特産品アピール力強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (12) - ア	
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	平成25～29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 - 1 - (1)	
事業内容	日頃より触れる機会の少ない与那国町の特産品の良さを知ってもらう為に、平成25年度離島フェアの集客力を利用し出展を行い、特産品のPRを行い参加事業所には店舗レイアウトや陳列方法、POPの作成方法などの専門家による事前講習を実施した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	4,500				
		(b)予算現額	2,160				
		(c)増減額(b-a)	2,340				
		(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)		2,160				
	B.執行済額		2,160				
	うち交付金充当額		1,728				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・減額が2,340千円発生しているが、入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	講習会開催数	目標	(7回)	()	()	()	
		実績	6回				
	参加事業者数	目標	(10事業者)	()	()	()	
		実績	8事業者				
達成状況説明	・定員10事業者(1事業者2名)に対し9事業者の申し込みがあり、途中辞退者が1事業者があった為、最終補助対象者の事業者は8事業者となった。その中で5回のレイアウト及びPOP講習などを受け習得した。その講習の成果を沖縄本島で行われる2013離島フェアで生かし、売り上げアップへと良い結果になった。また、目標10事業者から8事業者になった理由としては、各事業者の都合等により参加が厳しい部分が見受けられた。 ・当初計画していた講習会7回に対し実績では6回であった理由は、当初は講習時間等を短時間に設定していたが、事業実施にあたり各事業者がより受講できるよう講習時間を長時間に設定したことで講習回数が減となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	離島フェアへの出店者数	目標	()	(出店事業者数 10事業者)	()	()	()
		実績		出店事業者数 8事業者			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	事業者の都合により当初計画の事業者数よりも2業者少なく、最終的には8業者になった。 与那国町では特産品を取り扱う事業者いるものの、その特産品を実際販売するノウハウは乏しいのが現状である中で今回の事業を実施することによって販売へのスキルアップにつながり成果につながった。今後さらにレベルアップしながら講習を行い事業者に習得させ、さらなるスキルアップを図り、販路拡大及び地域活性化を目指す。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	事業を実施するにあたり、各事業者の販売のノウハウが乏しいのが現状である。その販売にあたっての打開策として、プロの講師を招いて講習等を行いスキルアップへと取り組む必要がある。	プロの講師を招いて講習等を行い、与那国町の各事業者のさらなるスキルアップを図り、今後の販路拡大、販路開拓へと地域活性化を目指す。
今後の取り組み方針		
与那国町の各事業者のスキルアップを図る事によって販路拡大、販路開拓へとつなげる。また、そのことによって雇用促進など地域活性化へにもつなげる。		



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	補助金申請及び実績報告により、補助金の決定を行っており妥当であったと考えている。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

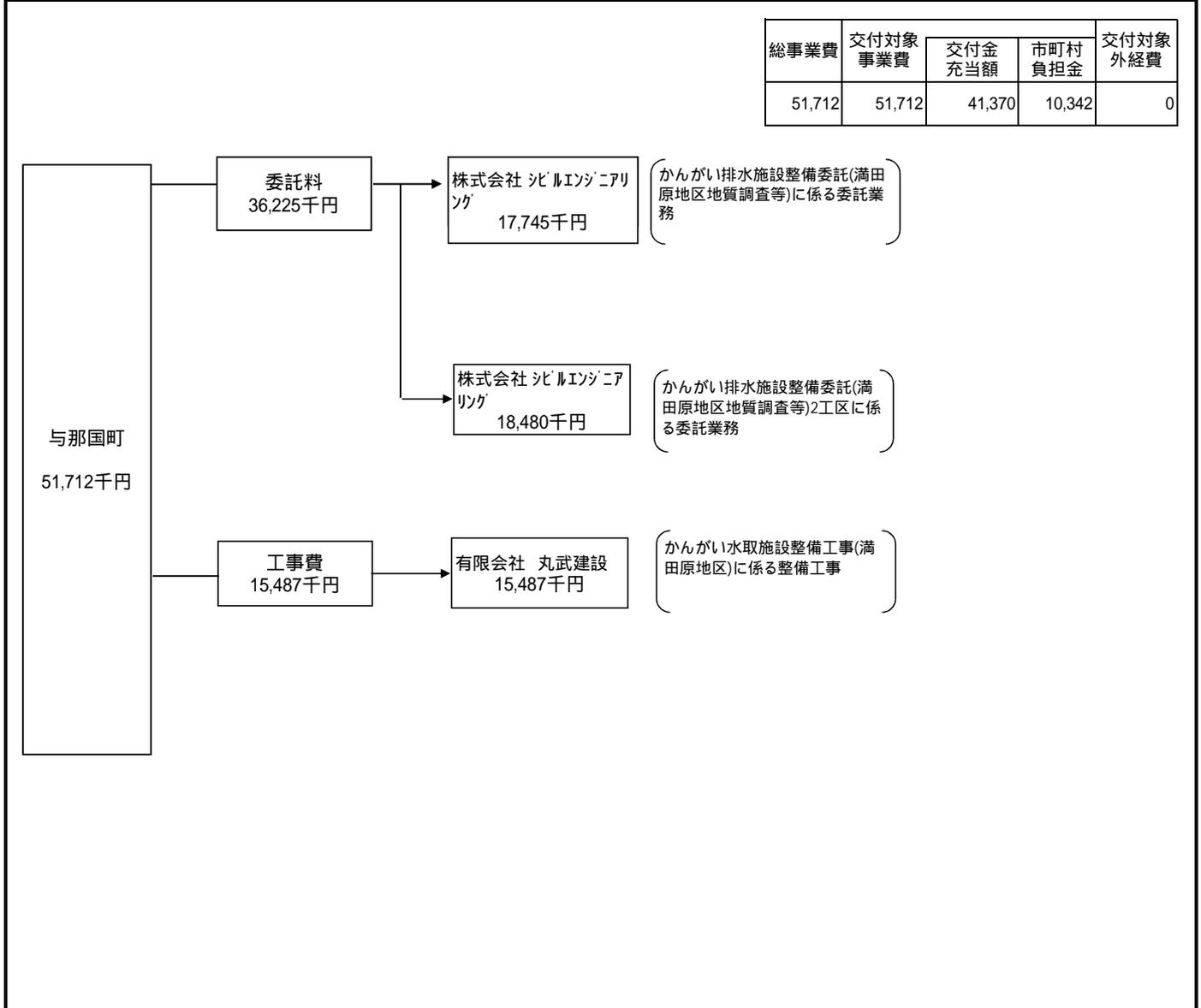
市町村名		与那国町									
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	2 - 与那国町農業用水対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(7)-カ						
	担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	平成24～26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	亜熱帯・島しょ性に適合した農水産業の基盤整備 - 1 - (6)				
事業内容	安定した農業生産基盤を構築するため、農業用水を年間を通して確保するため池及びかんがい排水施設の整備、生産効率を向上させる近代生産施設の導入、輸送時の品質低下を防ぐ簡易農道(石粉道路)の表層舗装と町道・農道の雑木伐採を実施する。										
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()										
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
		(a)当初予算額	20,000	40,000							
	(b)予算現額	34,000	51,712								
	(c)増減額(b-a)	14,000	11,712								
	(d)繰越額	-	-								
	A.計(b+d)	34,000	51,712								
	B.執行済額	34,000	51,712								
	うち交付金充当額	27,200	41,370								
	次年度繰越額	0	0								
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%								
予算の状況の説明	・増額が11,712千円発生しているが、当初計画していた委託業務内容(水取設備の追加)の変更に伴う増額であり、活動目標、成果目、標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。										
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況								
			24年度	25年度	26年度	27年度					
	かんがい施設整備の実施	目標	(4箇所)	(3箇所)	()	()					
		実績	4箇所	3箇所							
	目標	()	()	()	()						
	実績										
達成状況説明	農業用水さく井調査業務を実施し、かんがい排水が整備され、稲作に必要な不可欠な農業用水が確保され農家所得の向上が期待できる。										
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)				
	かんがい施設整備箇所数	目標	()	(4箇所)	(3箇所)	()	()				
		実績		4箇所	3箇所						
	〔参考指標〕	目標	()	()	()	()	()				
実績											
進捗状況説明	・農業用水かんがい施設整備を実施し、かんがい排水が整備され、稲作に必要な不可欠な農業用水が確保されたことで稲作の生産性向上及び農家負担の軽減・農家所得向上が図られる。										

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>・稲作の生産を行ううえで農業用水の確保が重要であるが、農業用水かんがい施設の少ない本町では、かんがい施設の整備が進んでいなく農業用水の確保が急務となっている。かんがい施設の整備を図ることで稲作の生産性向上及び農家負担の軽減をはかる必要がある。</p>	<p>・かんがい施設の整備を実施し年間を通じた農業用水の確保をされたことで、生産効率の向上及び農家の負担が軽減させるることにより、本町の主要農産品である稲作の生産性向上及び農家所得の増加を目指していく。</p>

今後の取り組み方針

かんがい施設の整備が実施されたことにより、農作物の生産性向上及び農家負担の軽減・農家所得の増加を図り、本町の農業振興と地域活性化へ繋げるとともに、通年を通して適切な維持管理を行っていく。

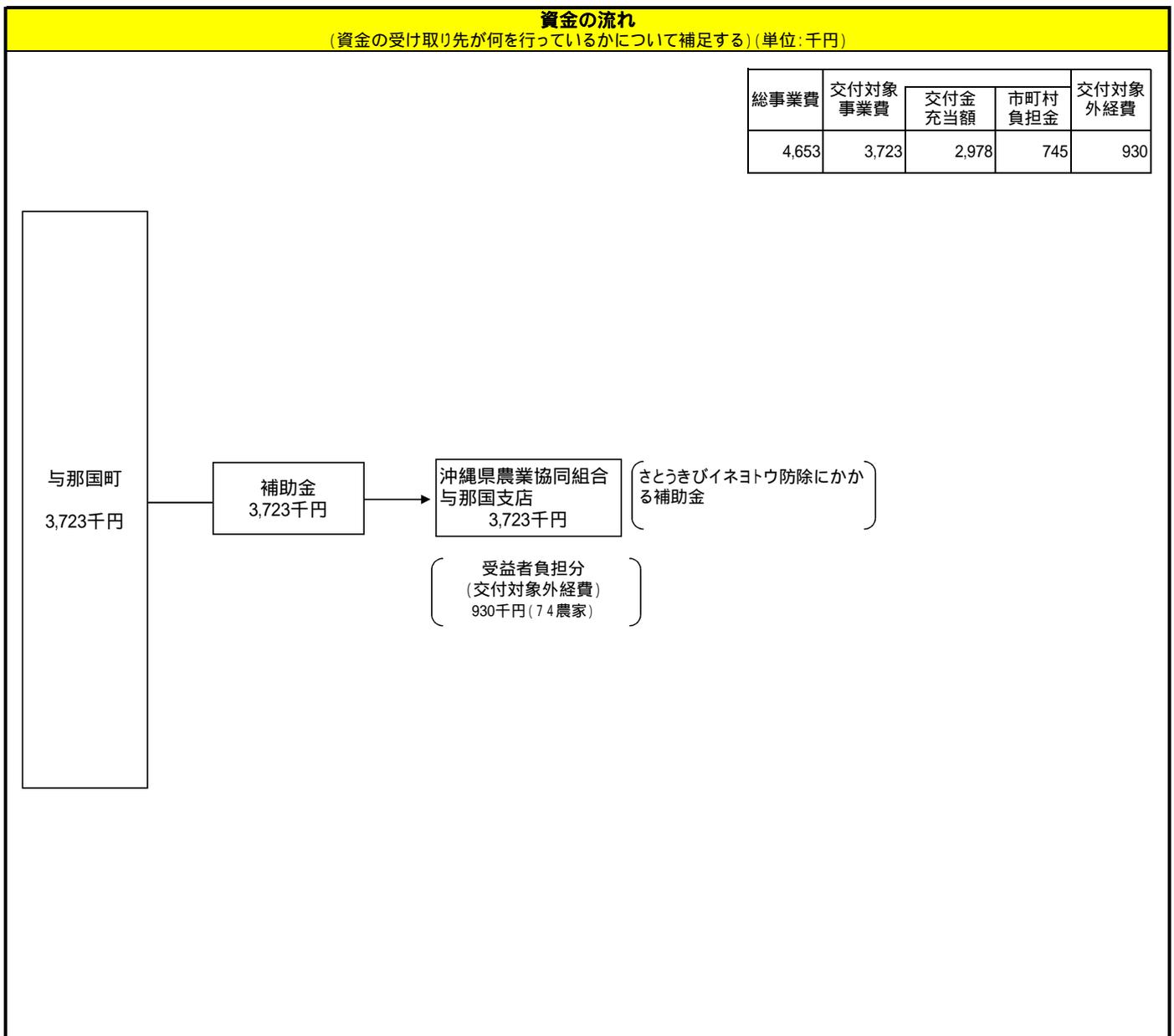
資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>委託事業者及び工事請負業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		与那国町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 -	与那国町さとうきびイネヨトリ防除事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-工	
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	平成25～29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林漁業者の担い手の育成確保及び経営安定対策の強化 - 1 - (6)	
事業内容	さとうきびの安定生産を図るたことを目的に、夏植え70ha、春植え20ha、株出し30haを対象に農薬購入に対する購入補助を実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	8,000				
		(b)予算現額	3,723				
		(c)増減額(b-a)	4,277				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	3,723				
	B.執行済額		3,723				
	うち交付金充当額		2,978				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・減額、4,277が千円発生しているが、当初計画していた植え付け面積が減少したため減額であり、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	農薬購入費の補助の実施	目標	(農薬購入費補助)	()	()	()	
		実績	農薬購入費補助				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	さとうきびの安定生産を図るため、植え付け時に必要な農薬購入費の補助を実施したことにより、生産性の向上に努めることが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	農薬購入費の補助の実施	目標	()	(補助件数 90農家)	()	()	(1ha当たり平均単収 H29年度:6トン)
		実績		補助件数 74農家			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	・夏植え時期の干ばつにより、当初予定していた植え付に遅れが生じたため、予定面積が減少したことで成果目標を下回ることとなった。 ・植え付け時に必要な農薬購入費の補助を実施したことにより、平成26年度収穫時の平均単収が向上する用に適正な肥培管理を図る。					

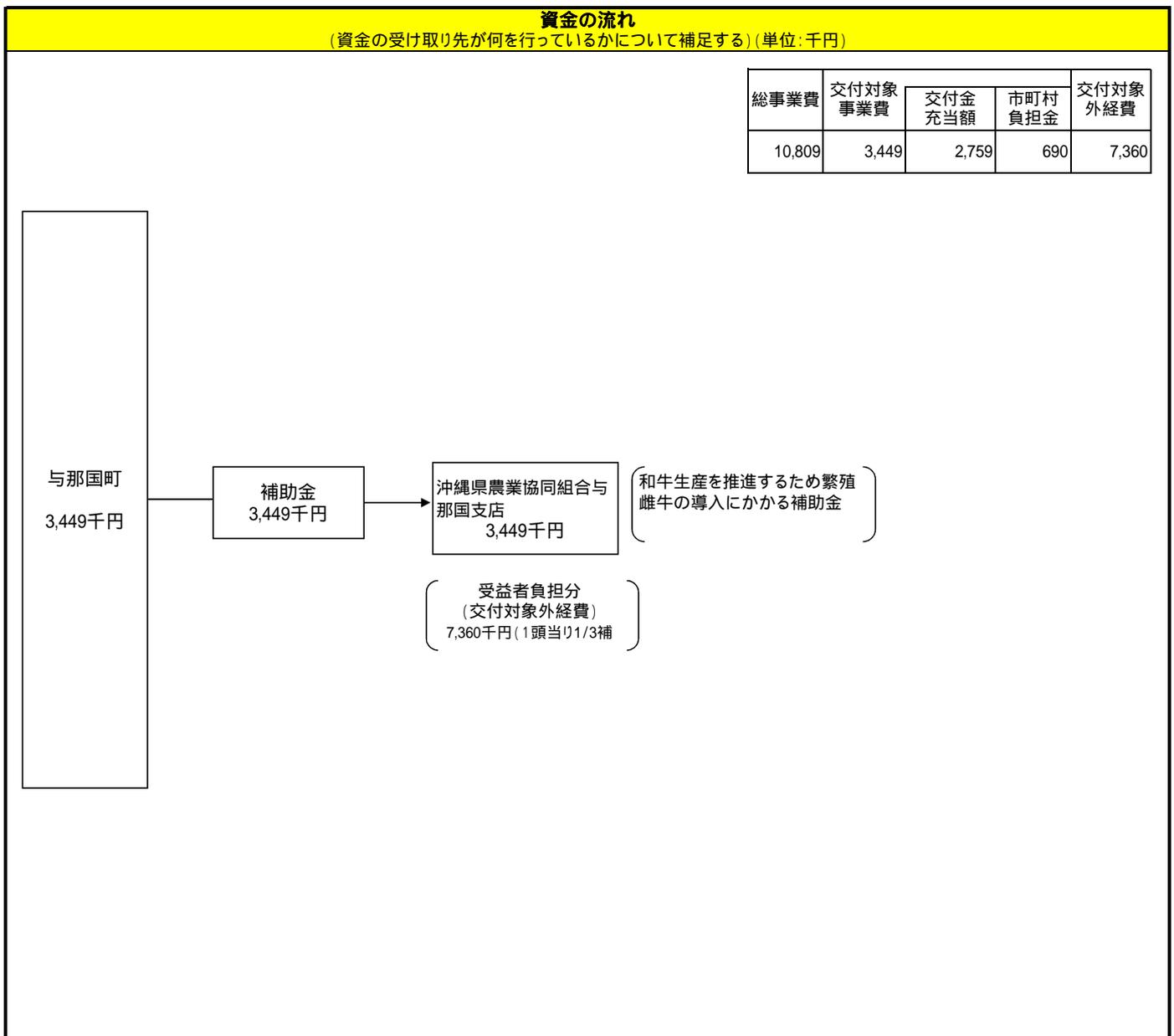
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	(1)生産農家の植え付け面積の申請及び植え付け面積の確認を行う必要がある。 (2)ペイト剤の配布に当たっては、袋数の確認を徹底する。	(1)農家申請時にさとうきび台帳との突合及び面積チェックをすることにより、面積確認する。 (2)資材担当との連携により配布がスムーズに行う。
今後の取り組み方針		
今後、ペイト剤を配布することにより、イネヨウの発生を抑え、生産農家の所得の向上及びさとうきび増産が図られる。		



資金の 用途の 流れ、 費目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	さとうきびイネヨウ防除事業補助金申請により、対象面積及び防除実績を確認の上で決定しており、妥当であったと考えている。 受益者負担については防除対象実績に応じ負担額を決定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		与那国町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 -	優良牛繁殖雌牛導入事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (7) - 工	
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	平成25～29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林漁業者の担い手の育成・確保及び経営安定対策の強化 - 1 - (6)	
事業内容	与那国町の和牛生産を推進すると共に、繁殖雌牛の生産基盤の拡充・強化を図り、改良を促進し、肉用牛の資質向上を図るために、町が農業者、農業組合法人を含む農業生産法人に対して優良繁殖雌牛購入費用の一部を助成し、購入費用の1/3以内、1頭当たり200千円を上限として助成を実施する。与那国町の和牛生産を推進するため、繁殖雌牛の導入補助(18頭)を実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	3,200				
		(b)予算現額	3,449				
		(c)増減額(b-a)	249				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	3,449				
	B.執行済額		3,449				
	うち交付金充当額		2,759				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		増額、249千円発生しているが、当初計画していた導入頭数(16頭→20頭)が増えたための増額であり、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	優良牛繁殖雌牛導入の実施	目標	(繁殖雌牛導入実施)	()	()	()	
		実績	繁殖雌牛導入実施				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	和牛生産の安定を図るため、優良繁殖雌牛の導入にかかる費用の一部を実施したことにより、老廃牛の更新が図られ本町の畜産振興及びの農家所得の向上が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	優良牛繁殖雌牛導入の実施	目標	()	(年間16頭)	()	()	(子牛平均価格 H27年度:350,000円)
		実績		年間20頭			
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	当初16頭を予定で事業を進めたが、事業執行時において導入希望者が増えたことにより導入数が増加した。 和牛生産の安定を図るため、優良繁殖雌牛の更新を計画的に進めることで、本町の畜産振興及びの農家所得の向上が見込まれる。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>近年の子牛価格の低下により、本町の母牛頭数の著しい減少及び畜産農家の減が生じている現状である。優良繁殖雌牛の導入費用の一部支援を行うことにより畜産農家の減少を防ぎ子牛価格の増加を図る必要がある。</p>	<p>本事業において優良繁殖雌牛の導入費用の一部支援を行うことで子牛価格の増加を図り、今後の畜産農家の減少に歯止めをかけ農業の振興を図っていく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>優良繁殖雌牛の導入費用を一部支援を継続的に実施することで、畜産農家の減少に歯止めをかけ安定的な子牛生産を目指し、畜産農家の所得向上及び経営安定が確保し、本町の畜産振興、担い手の育成へ繋げていく。</p>		



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	優良遺伝繁殖雌牛促進事業補助金申請により、導入牛の個体識別及び対象牛実績を確認の上で決定しており、妥当であったと考えている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	受益者負担については導入牛価格の1/3を負担額として決定しており、妥当であったと考えている。
		受益者との負担関係は妥当であるか。	費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那国町						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 -	水産物輸送コスト負担軽減事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-工	
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	平成25～29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林漁業者の担い手の育成・確保及び経営安定対策の強化 - 1 - (6)	
事業内容	水産物の県内輸送にたいして、流通条件の不利益を解消するため与那国町漁業協同組合に、県内出荷の輸送費の一部を補助する。与那国町の地理的不利性を解消するため、生鮮水産物の空路輸送料料に対し与那国漁業協同組合へ補助を実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	3,528				
		(b)予算現額	2,374				
		(c)増減額(b-a)	1,154				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	2,374				
	B.執行済額		2,374				
	うち交付金充当額		1,899				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・減額、1,154が千円発生しているが、当初計画していた漁獲高(カジキマグロ)が減少したための減額であり、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	生鮮水産物の空路輸送費補助の実施	目標	(空路輸送費補助)	()	()	()	
		実績	空路輸送費補助				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	生鮮水産物の沖縄本島まで空路輸送費補助を実施し、これまで輸送費が負担となり出荷されなかった生鮮水産物の出荷が増加した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	生鮮水産物の出荷量増	目標	()	(前年度比5%増)	()	()	()
		実績		前年度比130%増			
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	生鮮水産物の空路輸送費補助(沖縄本島)を実施したことにより、これまで航空輸送費が負担となり出荷されなかった生鮮水産物の出荷増が図られた。このことから今後も空路輸送費補助を行うことで、漁獲高増及び所得向上が見込まれ漁業振興に繋がる。					

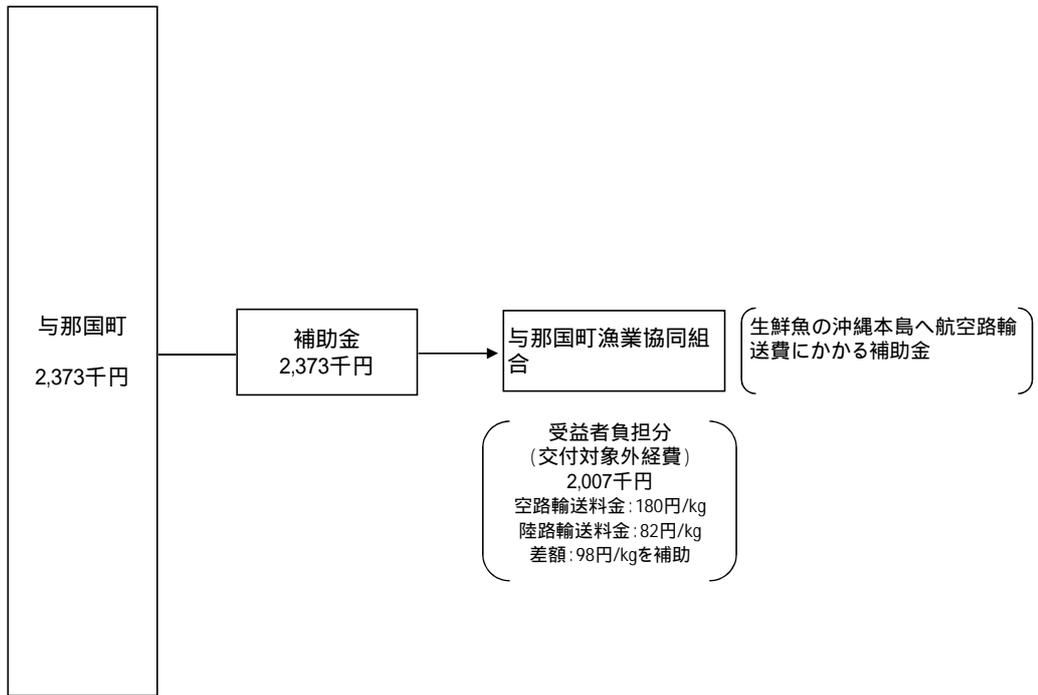
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>・本町は、県内の離島に比べ距離が長く沖縄本島 - 与那国間:509kmとなっており航路・航空路の運賃が高額で経済的不利性をもたらしている。そのことから生鮮鮮魚の出荷に係る割高な航空路の運賃を軽減を図ることが必要である。</p>	<p>・本事業で空路輸送費に対して補助を実施することにより、生鮮水産物の出荷量の拡大及び価格競争力の向上を図り、漁業者の所得向上及び経営安定を確保し、本町の水産業振興を図り担い手の育成へ繋げていく。</p>

今後の取り組み方針

空路輸送費の補助を実施していくことにより、これまで行われなから新しい漁業への展開及び漁業者の所得増加及び経営安定の向上を図り、水産業の活性化と島の活力を維持・推進すると共に、新規就業者及び担い手の育成へ繋げていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
4,380	2,373	1,899	474	2,007



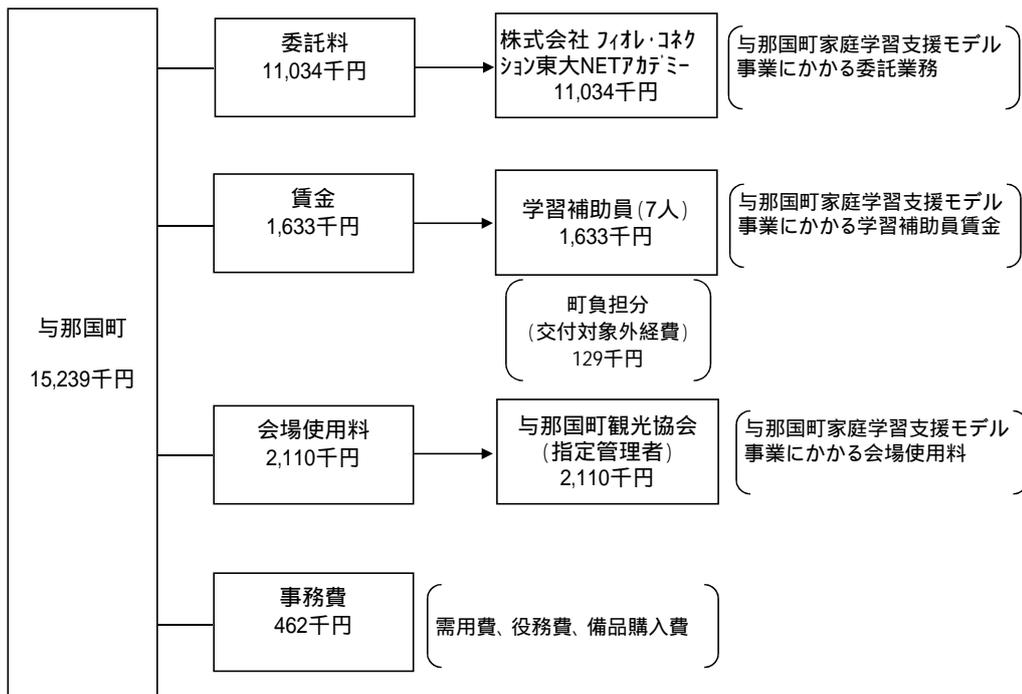
資金の流 れ、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	与那国町生鮮水産物流通条件不利性解消事業交付金申請により、対象輸送量及び輸送実績を確認の上で決定しており、妥当であったと考えている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	受益者負担については輸送実績を持って決定しており、妥当であったと考えている。
		受益者との負担関係は妥当であるか。	費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名		与那国町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3 - 家庭学習支援モデル事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(11)-イ		
	総務財政課 企画班		事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	-3-(1)	
事業内容	U・ターンを阻害する要因である中央との教育環境の格差を解消し、人口の増加と地域の活性化を担う人材の育成を図るため、小中学生を対象とした家庭学習支援としてWeb会議システムを用いたオンライン双方向授業を行う「町営学習塾」を開設した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	11,508	16,300			
		(b)予算現額	11,508	15,239			
		(c)増減額(b-a)	0	1,061			
		(d)繰越額	-	-			
		A.計(b+d)	11,508	15,239			
	B.執行済額		8,090	15,239			
	うち交付金充当額		6,472	12,191			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		70.3%	100.0%			
予算の状況の説明		・減額が1,061千円発生しているが、委託費の入札残額によりものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	町営学習塾の実施	目標	(町営学習塾の実施)	(町営学習塾の実施)	()	()	
		実績	町営学習塾の実施	町営学習塾の実施			
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	小中学生を対象とする家庭学習支援のため、既存の公共施設に設置されているWeb会議システムを用いたオンライン双方向授業を実施した。授業方法については現役東大生を講師とし、高度な学習環境の学びを与那国の子供たちへ提供することができた。また、単に知識のみでなく、ICTで物理的な距離を縮める一方で、心の距離を縮めるためにも対話型の授業が実践できている。さらに、勉強の方法や学ぶ姿勢を身につける場を提供することができ、学習環境・教育環境の充実により、中央と同じ授業を受けることが可能な環境を整えることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
	学習塾受講率	目標	()	学習塾受講率(中学生)60% (小学生)51%	学習塾受講率(中学生)46% (小学生)41%	()	学習塾受講率80%
		実績		学習塾受講率(中学生)60% (小学生)51%	学習塾受講率(中学生)50% (小学生)44%		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	与那国町家庭学習支援モデル事業の実施により、学校以外で学びの場が少ない本町の児童生徒の半数以上が学習塾を受講し、勉強の方法や学ぶ姿勢を身につけ、確かな学力の向上に繋がっている。また、受講状況(アンケート調査)から見ても満足度は高い。離島へき地の学習環境・教育環境の充実に関わっている。今後の取り組みとして、個別指導の充実を図るための機能を強化、対象学年を広げる、夏休みを利用したの夏期講習の充実を図っていく必要があると考える。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	1)小学生 授業内容についてアンケートを実施し、小学校5,6年生から良いアンケート結果が得られた一方、小学4年生からは良くないアンケート結果があった。これは、生徒が授業において集中していないことがあり、より厳しくする方針を採用したが、急な対応の変化に生徒の一部に戸惑いが見られ、今後その対策が必要である。	(1)小学生 小学生に対しては、講師の授業力向上のための勉強会実施し、生徒ごとに合わせた対応を検討する。今後発生する問題に対しても講師間の情報共有をスムーズに行い、講師全体で解決していく必要がある。また、定期テスト等を実施することにより学習の質を高めていく。
	(2)中学生 中学生からのアンケート結果は良好であった。2年目の受講となった生徒たちにとってはオンライン授業がより身近なものになり、円滑に授業を進めることができたことも一因になっていると思われる。	(2)中学生 中学生に対しては、少しずつではあるが、オンライン授業における講師の質・レベルも経験の積み重ねとともに向上している。また、定期テスト等を実施することにより学習の質を高めていく。
今後の取り組み方針		
<p>「国境」の「孤島」である与那国島において、子ども達の学力向上は、地域社会が望む永遠のテーマであり、安心して住み続けるために必要な学習環境・教育環境の機会を提供する。さらに、町の将来を担うべき地の才能を埋もれさせないためにも人材を育成し、将来の人口の増加と地域の活性化を図るため、本事業を継続的に続けて行く。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,369	15,239	12,191	3,048	129



資金の流点・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は企業組織、実績、知識等を助案した上、指名競争入札により選定している。また、学習支援員の賃金については、与那国町資金職員雇用管理規程に基づき確認の上で支出しており、妥当であったと考えている。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		与那国町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3 -	教育諸活動助成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (11) - イ	
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	- 3 - (1)	
事業内容	町内の児童生徒の各種大会派遣費(航空運賃等)を助成することにより、子供たちが持つ多様な能力・才能を発揮する機会を提供する。この住民負担の軽減により、貴重な経験を得ることができる機会をより多く提供し、本町の未来を拓く子供たちの能力向上を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	6,140	6,000			
		(b)予算現額	4,925	5,297			
		(c)増減額(b-a)	1,215	703			
		(d)繰越額	-	-			
	A.計(b+d)		4,925	5,297			
	B.執行済額		4,925	5,297			
	うち交付金充当額		3,940	4,237			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		・減額が703千円発生しているが、当初計画していた一部大会等に派遣できなかったため減額であり、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	各種大会派遣の実施	目標	(350人)	(300人)	()	()	
		実績	376人	290人			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	町内5校の児童生徒を各種大会へ派遣するため、渡航費等の費用の助成を実施した。また、与那国に住む子供たちが持つ多様な能力・才能を発揮する機会を提供した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
	各種大会派遣人数	目標	(400人)	(350人)	(300人)	()	延べ派遣人数 2,000人
		実績		376人	290人		
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・各種大会への派遣に係る渡航費助成の実施により、H25年度290人の児童生徒が貴重な経験を得ることができる機会をより多く提供し、本町の未来を拓く子供たちが持つ多様な能力・才能を発揮することができた。 ・派遣予定人数の減については、当初予定していた大会に派遣が見送られたため減少した。					

市町村名		与那国町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3 -	地域国際交流事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (12) - オ	
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交流と貢献による離島の新たな振興 - 3 - (1)	
事業内容	<p>本事業では、本町の姉妹都市である台湾・花蓮市への小学生のホームステイを行い、島の次世代を担う少年少女に異文化交流と体験学習を深めることにより、国際的な広い視野と高い語学力を持つ人材を育成を図った。</p>						
実施方法	<p>直接実施 委託 補助 負担 その他 ()</p>						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,980	2,269			
		(b) 予算現額	2,909	3,132			
		(c) 増減額 (b-a)	71	863			
		(d) 繰越額	-	-			
	A. 計 (b+d)		2,909	3,132			
	B. 執行済額		2,909	3,132			
	うち交付金充当額		2,327	2,505			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		<p>・増額が863千円発生しているが、旅費等の見直しによりものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。</p>					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	台湾「花蓮市」へホームステイの実施	目標	(15人)	(15人)	()	()	
		実績	15人	16人			
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	<p>本町の姉妹都市である台湾・花蓮市への小学6年生を対象としたホームステイを実施した。また、島の次世代を担う子供たちに異文化交流と体験学習を深めることにより、国際的な広い視野を高めることが出来た。さらに、異国での集団宿泊学習を通して、好ましい人間関係を深める能力態度を育むことができた。</p> <p>報告会として、各学校でプレゼンテーションによる全体会を持ち、キャリア教育の一環として、将来の夢や希望を培う機会設け、さらに、個人学習として新聞づくり等を行い国際理解教育の「異文化理解」「自国文化の理解」や生きる力に必要な「表現力」を身につけることができた。</p> <p>今後、さらなる活動として小中学校や地域を巻き込んだ報告会、活動を実施する計画である。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
	台湾「花蓮市」へホームステイ生徒数	目標	()	(15人)	(15人)	()	派遣生徒数 60人
		実績		15人	16人		
	学力向上推進実践報告会	目標	()	(1回)	(1回)	()	()
実績			1回	1回			
進捗状況説明	<p>・台湾・花蓮市への小学生のホームステイの実施により、16人の子供たちが国際交流を通して地域文化を見つめ直し、異文化交の体験学習を深め国際的な広い視野と高い語学力を持つ人材の育成を行っている。</p> <p>花蓮縣の小学校との子ども同士の直接的な交流を通して、国際理解教育の「平和」「人権」「異文化理解」「自国文化理解」「表現力」の指導の視点の推進を図ることができた。</p> <p>・当初計画時において15人生徒を予定していたが、進学人数が16人となった事により増となった。</p>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・ホームステイで得られる国際感覚と高い語学力の基礎的経験を得るため、ホームステイ期間中のイベントのみではなく、ホストファミリーとのふれあう時間の充実などについて検討が必要である。</p> <p>・ホームステイで得られる異文化交流の深化を図るため、ホームステイで派遣される青少年自らが伝える「地域が持つ伝統文化や芸能」の充実が必要である。</p>	<p>・ホストファミリー側の満足度を高める工夫についても考慮し、本町の青少年がホームステイで得られる経験をより良くする。</p> <p>・普段の生活の中で与那国の持つ伝統文化や伝統芸能などに子供たちが多く触れる機会を意識して設けると共に、ホームステイへの派遣前に集中期間を設けるなど、子供たちからがホームステイ先へ伝える「異文化」の充実を図る。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・H26年度も引き続きホームステイを実施し、島の次世代を担う青少年に異文化交流と体験学習を深めると共に、国際的な広い視野と高い語学力を持つ人材育成を図る。</p> <p>・ホームステイを終了した小学生を対象に、ホームステイ前後で生じた自らの変化などについて話し合う機会を設け、次年度以降のホームステイの内容や事前の活動に反映し、より効果的な内容とする取り組みを推進する。</p>		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	3,132	3,132	2,505	627	0
<pre> graph LR A[与那国町 3,132千円] --> B[委託料 3,132千円] B --> C[株式会社 中央ツーリスト 3,132千円] </pre> <p style="text-align: right;">〔平成25年度台湾花蓮県小学校等交流事業にかかる委託業務〕</p>					

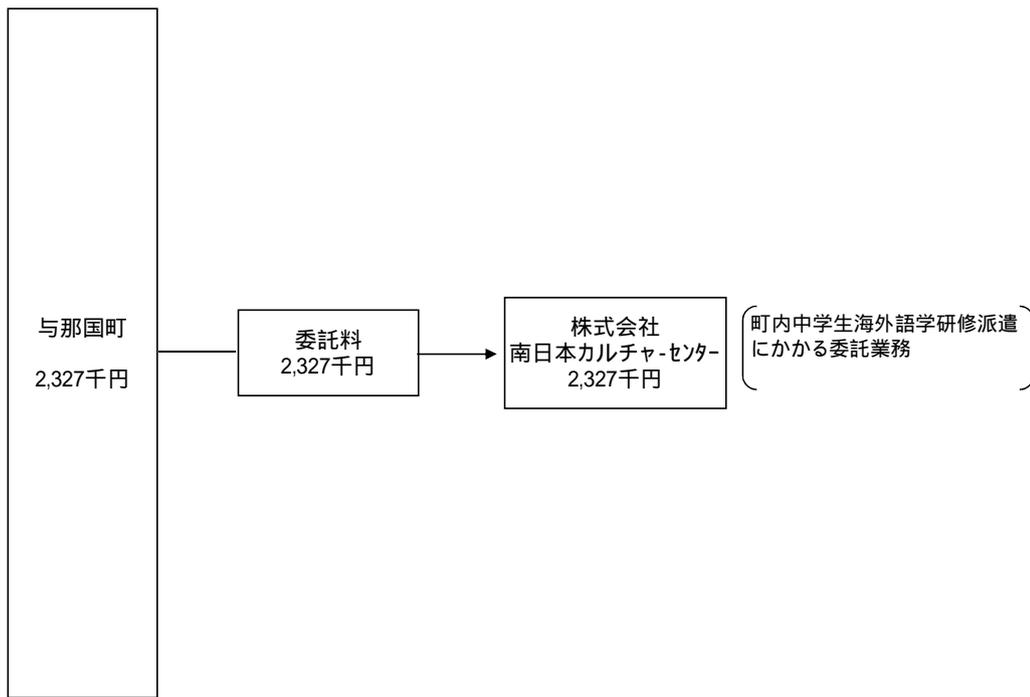
資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は随意契約方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		与那国町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3 -	与那国町ジュニア海外語学研修派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (12) - オ	
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	平成25～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交流と貢献による離島の新たな振興 - 3 - (1)	
事業内容	<p>本事業は、町内の中学生を対象として、ジュニア期の早い時期に欧米への語学研修(短期ホームステイ)の支援を行う。ジュニア期の語学研修は、海外での生活体験を通して外国語への学習意欲を喚起する。また、国際交流を通して地域文化を見つめ直す機会を提供することになり、豊かな国際感覚を身につけた人材の育成、及び町の将来を担う人材の育成を図る。</p>						
実施方法	<p>直接実施 委託 補助 負担 その他 ()</p>						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	1,794				
		(b)予算現額	2,327				
		(c)増減額(b-a)	533				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	2,327				
	B.執行済額		2,327				
	うち交付金充当額		1,862				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		<p>増額が533千円発生しているが、語学研修派遣人数の増によりものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。</p>					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	海外語学研修派遣事業の実施	目標	(派遣事業の実施)	()	()	()	
		実績	派遣事業の実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	<p>国際交流の一環として取り組み、与那国町の子供達が外国を身近に感じ取り、視点を郷土に置きながら与那国町の国際化が拡充する好機となった。また、子ども達に海外での生活体験を通して外国語学習への意欲喚起と豊かな国際感覚を身につけさせることができた。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	海外語学研修派遣事業の実施	目標	()	(アメリカ 2人 イギリス 2人)	()	()	()
		実績		アメリカ 6人			
	与那国町総合文化際語学研修意見発表会	目標	()	(1回)	()	()	()
		実績		1回			
	進捗状況説明	<p>今後とも国際的な視野を持って活躍する人材育成を目指すためにも、英語圏内の外国における語学派遣を行い、与那国町の発展のためにグローバルな人材育成を図りたい。 研修(短期ホームステイ)先を、語学教育の充実を図ることを目的に欧米を研修先と予定していたが、ヨーロッパ(イギリス)においては、本業務に精通し、安全面を最大限に考えると業者を選定することができなかった。 また、報告会では、個々の学習にせまるために各学校での報告会を実施し、事前、事後学習と学習を深めることができた。</p>					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームステイで得られる国際感覚と高い語学力の基礎的経験を得るため、ホームステイ期間中のイベントのみではなく、ホストファミリーとのふれあう時間の充実などについて検討が必要である。 ・異文化や外国人とのコミュニケーションに関心の高い生徒を育成し、英語学習に意欲的に取り組んでいく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生を中心として国際交流や語学教育の充実を図ることを目的として国際交流を実施してきた。 ・今後、地域における国際交流活動を考え、地域の住民と様々な形で交流を深める国際交流を行い、地域へ積極的に発信する活動を計画する必要がある。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・H26年度も引き続き海外語学研修派遣事業を実施し、島の次世代を担う中学生に異文化交流と体験学習を深めると共に、国際的な広い視野と高い語学力を持つ人材育成を図る。 ・グローバル社会に向けて、国際的な視野を持って活躍する人材の育成を図るために、より効果的な内容とする取り組みを推進する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
2,327	2,327	1,862	465	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は随意契約方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。(専門的教育分野を服務事業であり業務委託においては、本業務に精通している業者を選定した。海外への生徒派遣業務という特殊事情のため、派遣生徒の安全面を最大限に考慮することを第一に、業務内容を十分把握している等の理由により例年業務委託を契約を交わしている) 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

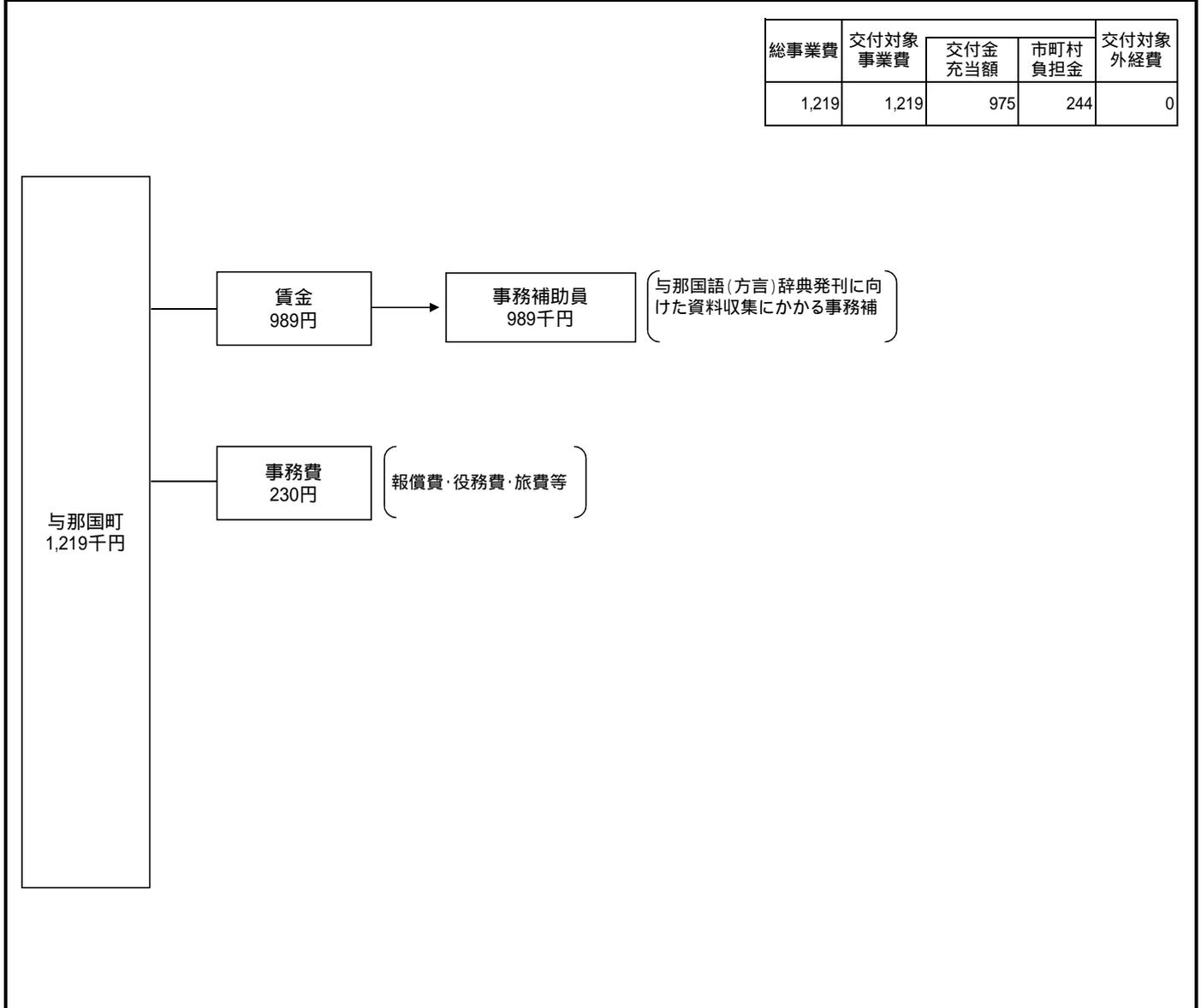
市町村名		与那国町						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4		地域文化の継承と生涯学習支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア		
	担当部課名	総務財政課 企画班		事業実施(予定)年度	H25～H28		沖縄振興基本方針該当箇所	伝統文化と保全・継承及び新たな文化の創造 - 3 - (1)
事業内容	<p>これまで「地名と風土」と「民族編」に続いて歴史編を発刊しており、2009年にユネスコによる与那国語(方言)の消滅危惧種に認定されたことから、先人の残した島固有の言葉と伝統文化の保全継承の重要性、与那国語(方言)のすばらしさの再認識と次世代継承を目的に「与那国語(方言)辞典」の発刊に向け関連イベントを実施する。</p>							
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,310					
		(b)予算現額	1,219					
		(c)増減額(b-a)	1,091					
		(d)繰越額	-					
		A.計(b+d)	1,219					
	B.執行済額		1,219					
	うち交付金充当額		975					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		減額が1,091千円発生しているが、賃金職員の雇用期間が短かったためであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況					
			25年度	26年度	27年度	28年度		
	与那国語(方言)講演会の実施	目標	(講演会の実施)	()	()	()		
		実績	講演会の実施					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	与那国方言推進委員会を立ち上げたことで、各専門部会で方言資料の収集、検証、講座、イベントを開催した。、町民への与那国方言の普及促進、与那国方言伝承へ対する気運醸成を図った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)	
	方言大会の実施 スンカニ大会の実施	目標	()	(方言大会 20名 スンカニ大会 25名)	()	()	()	
		実績		方言大会 未実施 スンカニ大会 未実施				
	[参考指標]		目標	()	()	()	()	
			実績					
	進捗状況説明	方言大会及びドゥナンスンカニ大会は、事業の成果発表の場として位置づけている。方言に関しては講座やイベントを開催したが、方言継承に対する意識が町民全体に浸透せず、成果発表の場としての方言大会を開催することができなかった。ドゥナンスンカニ大会は、毎年一回、合計13回開催してきたことで、近年は、新たな出場者の確保が厳しい状況となっている。スンカニの保存・継承及び大会継続のためには、新たな継承者の育成が不可欠であるが、講座等の開催が十分でなく、今回は開催を見送った。以上の点を改善し、26年度以降は継続的に開催したい。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>本土出身者の家庭の増加、核家族可が進んでいる上、話者の高齢も進んでいるおり、方言の伝承は今後ますます困難になることを念頭に置く必要がある。そのため、事業効果の検証等をすみやかに行う必要がある。与那国方言は地域ごとに異なり、各地域の話者は愛着と誇りを持っているため、多様性を尊重しなければならない。</p>	<p>方言伝承に対する気運の醸成が町民全体へ浸透しているとはいえ、日常生活や業務での挨拶など、与那国方言の積極的な使用を奨励し、方言の定着を図る必要がある。各種講座は親子で参加できるものとし、学んだ内容は家庭においても実践することを推奨する。</p>

今後の取り組み方針

与那国方言は、伝統行事等で使用される大切な言葉であるとともに、キングイ(狂言)、舞踊等、与那国独特の文化の基層であり、衰退、消滅は与那国町民のアイデンティティの喪失に繋がる。本事業を継続的に推進することで、誇りと愛着の持てる地域社会の構築を目指す。

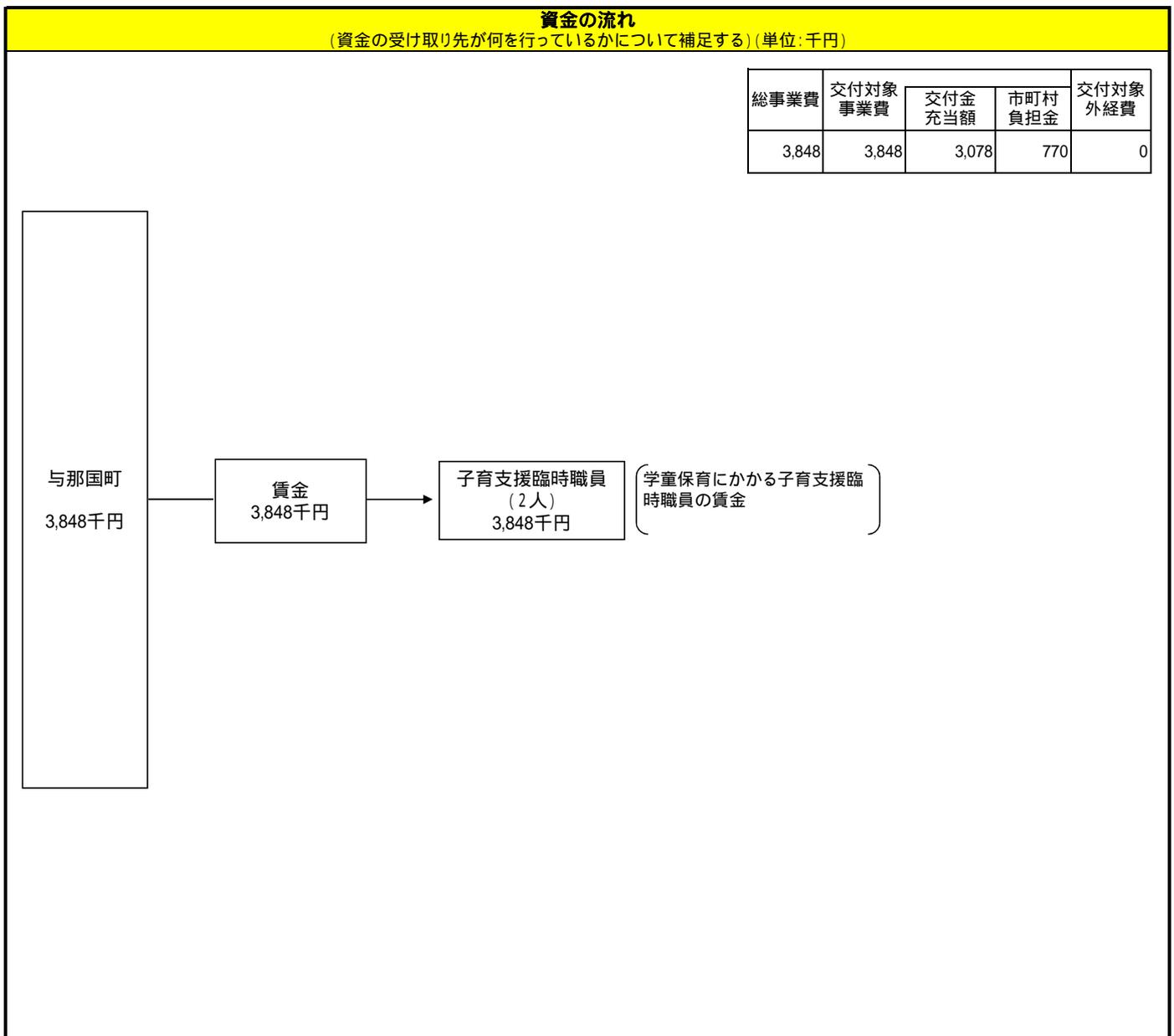
資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>事務補助員の賃金については、与那国町賃金職員雇用管理規程に基づき確認の上で支出しており、妥当であったと考えている。</p> <p>費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		与那国町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5 -	与那国町すこやか子育て支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-ア	
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	平成25～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり - 4 - (1)	
事業内容	就学前児童を対象として、教育課程に係る教育時間終了後に公共施設の一室を利用して、子どもにとって安心・安全な場所を設け、遊びの場を提供し、保護者の子育て支援する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	3,456				
		(b)予算現額	3,848				
		(c)増減額(b-a)	392				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	3,848				
	B.執行済額		3,848				
	うち交付金充当額		3,078				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		増額、476が千円発生しているが、当初計画していた指導員の賃金の見直しによる増額であり、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	子育て支援臨時職員の雇用	目標	(2人)	()	()	()	
		実績	2人				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	就学前児童を対象にして、公共施設の一室を利用し子供達が安心して生活できる場所の確保と、保護者が安心して就労できる環境を整えるため子育て支援臨時職員を配置ことにより、与那国島で安心して子育てし定住する環境を整えることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	支援人数(利用者数)	目標	()	(利用者数 24人)	()	()	()
		実績		利用者数 24人			
	〔参考指標〕		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	子ども達が放課後や夏休み等に安全で生活できる場所を提供することができたことで保護者の安定した就労が可能となり、与那国島で安心して子供を産み育てる環境が整備され定住促進に繋がって行くことができる。						

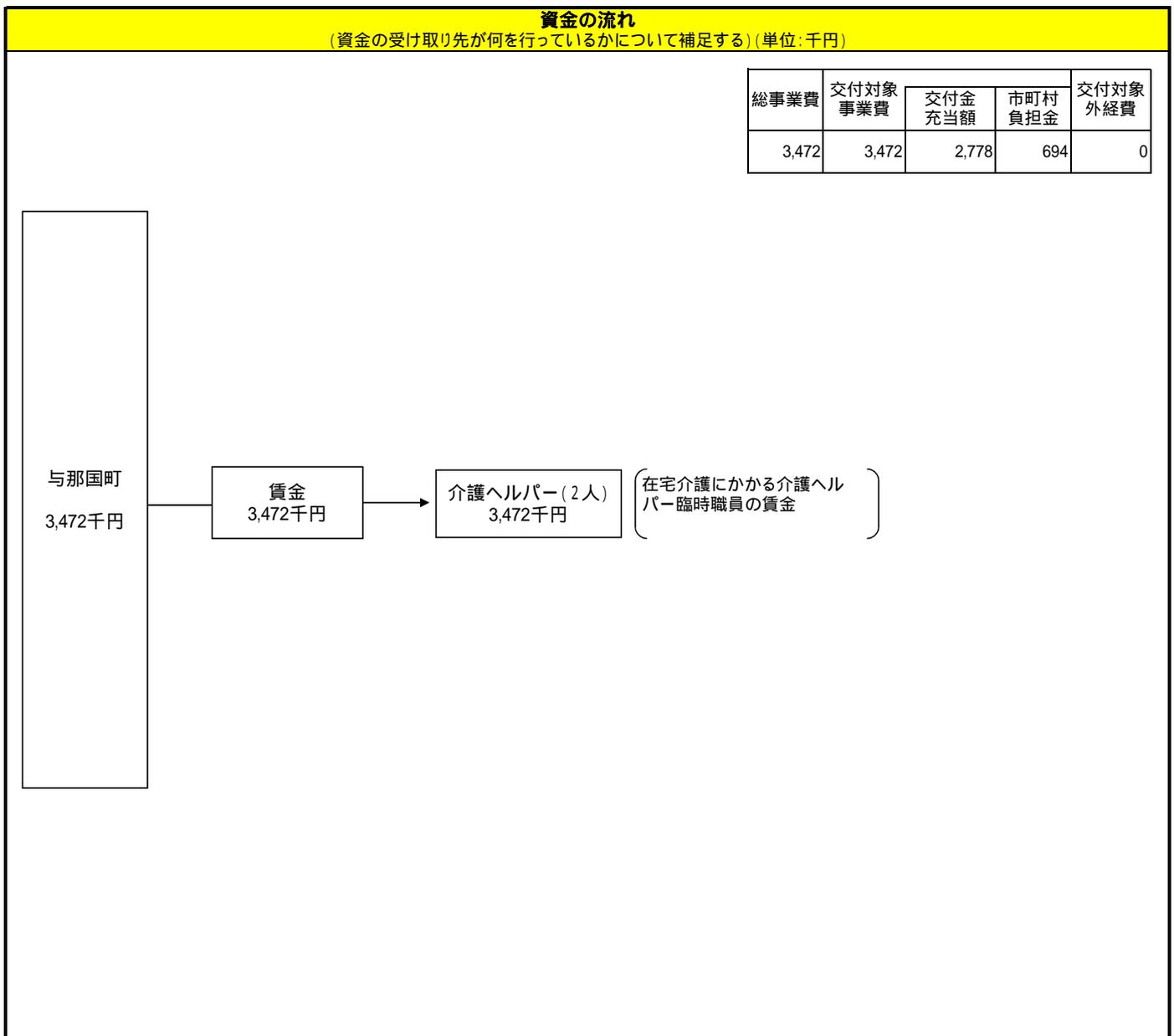
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>子育て支援臨時職員を配置し学童保育を実施しているが、学校から学童までの送迎等についての支援も必要としいることから、保護者が安心して就労できる環境を今まで以上に支援する必要がある。</p>	<p>子育て支援臨時職員による学校から学童までの送迎についても支援し、保護者が安心して就労できる環境の向上を図り、これまで以上に保護者と行政が協力し子ども達にとって安心・安全な場所及び遊びの場を提供する支援体制が整えられた。</p>
今後の取り組み方針		
<p>働く女性や核家族が増える中で、共働き家庭や一人親家庭の子ども達が、放課後や夏休みなど長期学校休校日は親が仕事をしているため、子ども達が安心して生活できる場所の確保と、保護者が安心して就労できる環境を整える。</p>		



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>支援臨時職員の賃金については、与那国町賃金職員雇用管理規程に基づき確認の上で支出しており、妥当であったと考えている。</p> <p>費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		与那国町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5 -	介護ヘルパー支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	平成25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	高齢者が住み慣れた地域で生き生き暮らせる環境づくり - 4 - (1)	
事業内容	介護サービス事業所がない本町は、利用者に十分な介護サービス提供が行えない状況にある。当分の間、町役場がサービス提供に必要な人材等を確保し、安心、安定した介護サービスの提供を実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,996				
		(b)予算現額	3,472				
		(c)増減額(b-a)	476				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	3,472				
	B.執行済額		3,472				
	うち交付金充当額		2,778				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		増額、476が千円発生しているが、当初計画していた指導員の変更に伴い賃金の見直しによる増額であり、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	介護ヘルパーの雇用	目標	(2人)	()	()	()	
		実績	2人				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	介護支援ヘルパーにより在宅介護者へ入浴介護・食事介護を実施し、利用者が安心して利用できるため環境を支援を図った。						
成果目標(指標)及び進捗状況		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)	
	介護ヘルパーによる入浴介護・食事介護の実施	目標	()	(介護の実施)	()	()	()
		実績		介護の実施			
	〔参考指標〕	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	介護サービス事業所がない本町において、介護支援ヘルパーによる在宅介護サービスの提供を実施することにより、働きながら介護を行う利用者に安心、安全な介護サービスの提供した。 平成25年度に完成した介護支援センターが社会福祉協議会へ指定管理を行い始動することから、今回事業で雇用した介護ヘルパー臨時職員(2人)を社会福祉協議会で雇用し速やかに介護サービスが提供される体制を整える。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	介護サービス事業所がない本町は、利用者に十分な介護サービス提供が行えない状況にある。、利用者が安心して利用できるため環境を支援するため介護支援ヘルパーによる在宅介護サービスを行うことが必要である	介護支援ヘルパーによる在宅介護サービスの提供を実施することで、働きながら介護を行う利用者に安心、安全な介護サービスを提供を図り、本町の医療体制の充実や福祉サービスの向上に繋げていく。
今後の取り組み方針		
平成26年度の実施方針として、平成25年度に完成した介護支援センターが社会福祉協議会へ指定管理を行い始動することから、これまで以上に利用者に十分な介護サービス提供がをはかり、利用者が安心、安全に利用できる介護サービスの提供行っていく。		



資金の流 れ、費目 ・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	介護ヘルパー臨時職員の賃金については、与那国町賃金職員雇用管理規程に基づき確認の上で支出しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		与那国町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5 - 子育て支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(2)-ア		
	総務財政課 企画班		事業実施(予定)年度 平成25年度		子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		
担当部課名			沖縄振興基本方針該当箇所		-4-(1)		
事業内容	平成24年度交付金で事業化した保育所建設は平成25年度に繰越しているが、当初計画時に全体事業費が不足となり、設計委託業及び建設工事費となったため、平成25年度において備品購入を実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	5,000				
		(b)予算現額	18,891				
		(c)増減額(b-a)	13,891				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	18,891				
	B.執行済額		18,891				
	うち交付金充当額		15,113				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		増額、13,891が千円発生しているが、備品購入費及び工事費の増加に伴う増額であり、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	祖納保育所の備品購入	目標	(備品の購入)	()	()	()	
		実績	備品の購入				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	祖納保育所建設に必要な備品等(空調設備・厨房備品・事務備品・園庭遊具)及び工事(屋根赤瓦)を整備し、供用開始(平成26年度)に向けた保育所整備に必要な備品の設置ことにより、安心して子育てできる環境の充実が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	祖納保育所の子育て支援備品設置	目標	()	(備品の設置)	()	()	()
		実績		備品の設置			
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	祖納保育所建設に必要な備品等(空調設備・厨房備品・事務備品・園庭遊具)及び屋根赤瓦(与那国町景観条例に基づき)を整備したことにより、働きながら子育てができる環境が充実し、子育て世代の定住促進が期待できる。					

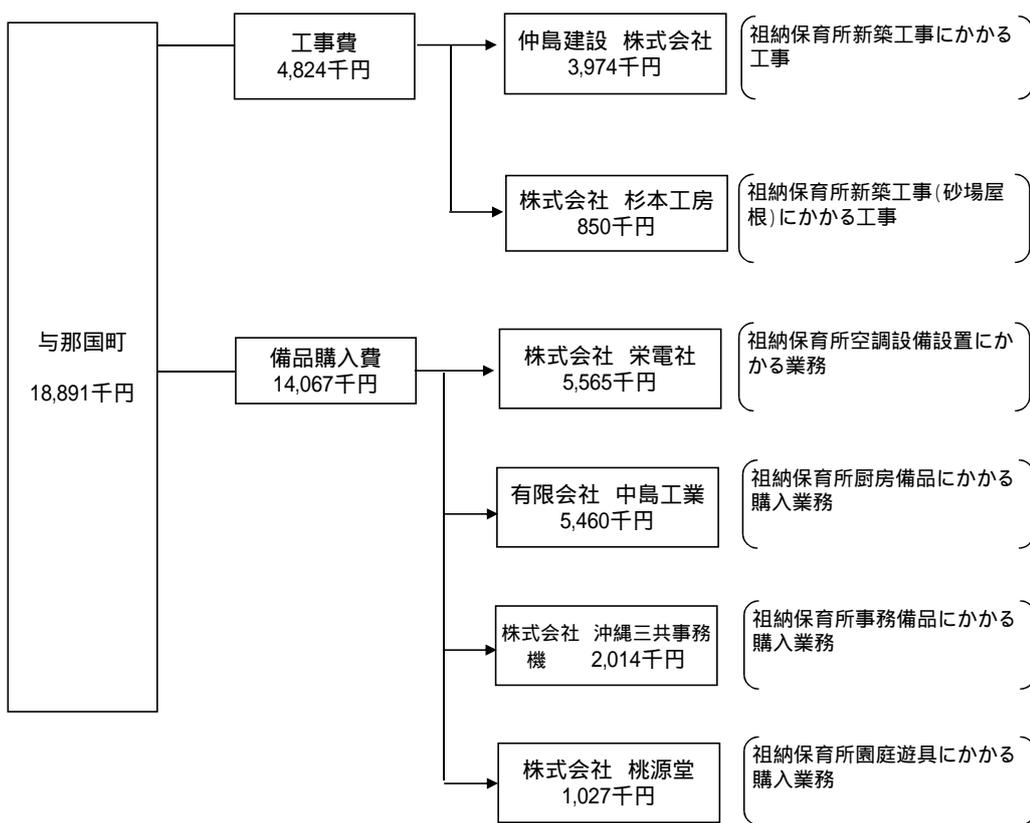
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>・事業を進めるうえで、保護者及び保育士の意見を取り入れた備品を整え整備して行くことが、働きながら子育てする保護者にとって安心して就業できる環境の整備を整える必要がある。</p>	<p>保護者及び保育士の意見を取り入れ計画を進めたことで、これまで無い保育所が整備されると共に景観に考慮した祖納保育所が完成し、安心、安全に働きながら子育てできる環境が充実され子育て世代の定住促進に繋げる。</p>

今後の取り組み方針

祖納保育所の供用開始に伴い、働きながら子育てを育てることができる環境の整備が整ったことで、これまで以上に子育て支援の充実を図り、保護者が安心して働ける環境を維持する共に、適切な施設の管理運営に努めていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 千円)

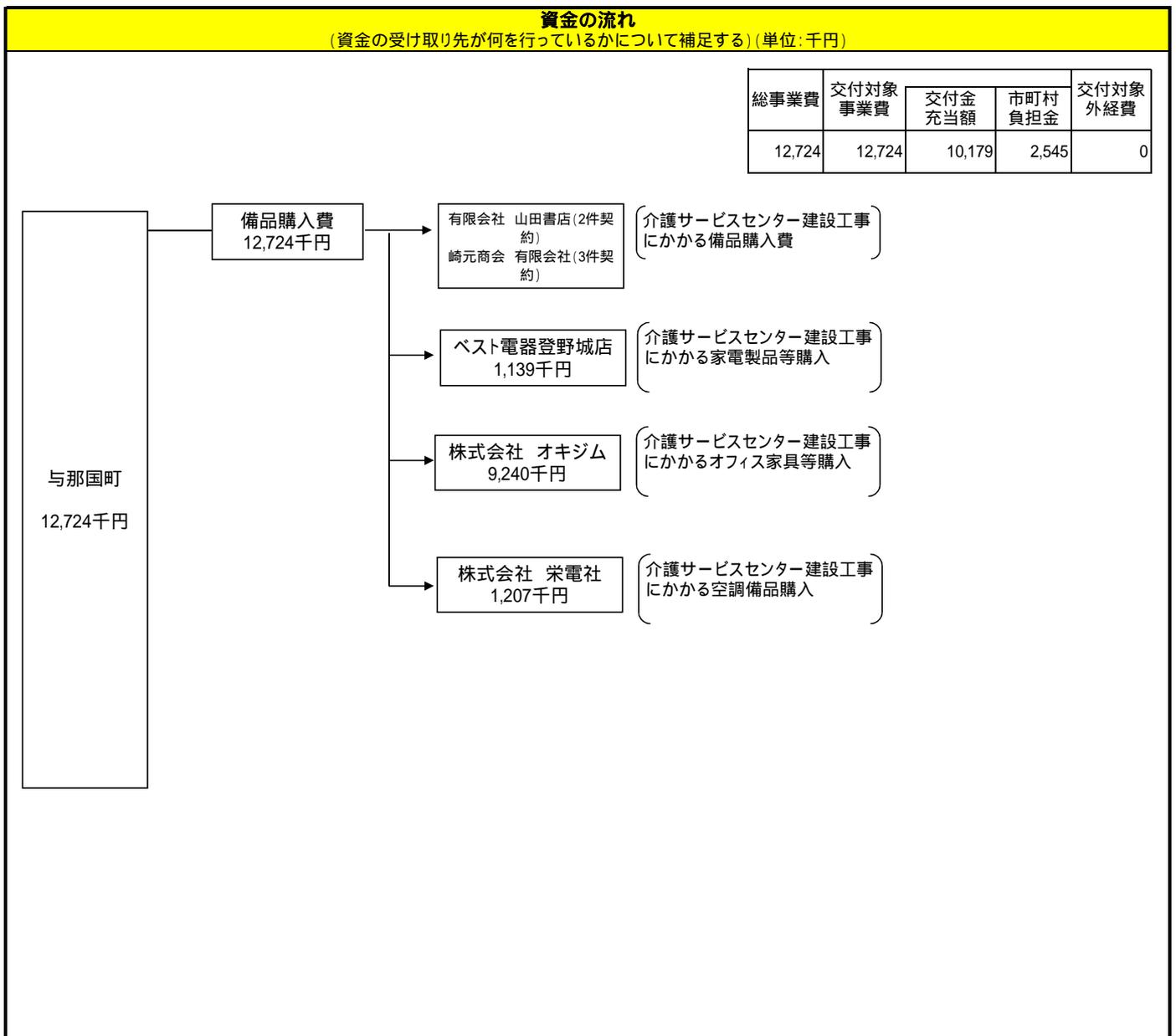
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
18,891	18,891	15,113	3,778	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>請負請負業者及び備品購入事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		与那国町						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	5 - 介護支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 2 - (3) - ア			
	担当部課名	総務財政課 企画班		事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	高齢者が住み慣れた地域で生き生き暮らせる環境づくり - 4 - (1)	
事業内容		平成24年度交付金で事業化した介護支援センター建設は平成25年度に繰越しているが、当初計画時に全体事業費が不足となり、設計委託業及び建設工事費となったため、平成25年度において備品購入を実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	3,000					
		(b)予算現額	12,724					
		(c)増減額(b-a)	9,724					
		(d)繰越額	-					
		A.計(b+d)	12,724					
	B.執行済額		12,724					
	うち交付金充当額		10,179					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		増額、12,724が千円発生しているが、備品購入費の増加に伴う増額であり、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況					
			25年度	26年度	27年度	28年度		
	介護支援センターの備品購入	目標	(備品の購入)	()	()	()		
		実績	備品の購入					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	介護支援センター建設に必要な備品等(空調備品・オフィス家具等・家電製品・パソコン等)を整備したことにより、高齢者・障がい者が生活する上での不安の軽減及び介護に係る家族等の負担軽減が図られる。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)	
	介護支援センターの介護支援備品設置	目標	()	(備品の設置)	()	()	()	
		実績		備品の設置				
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	介護支援センターの供用開始に伴い、地域の社会福祉を支える体制が強化され、高齢者・障がい者が生活する上での不安の軽減及び介護を担う家族に対する負担軽減を図っていく。						

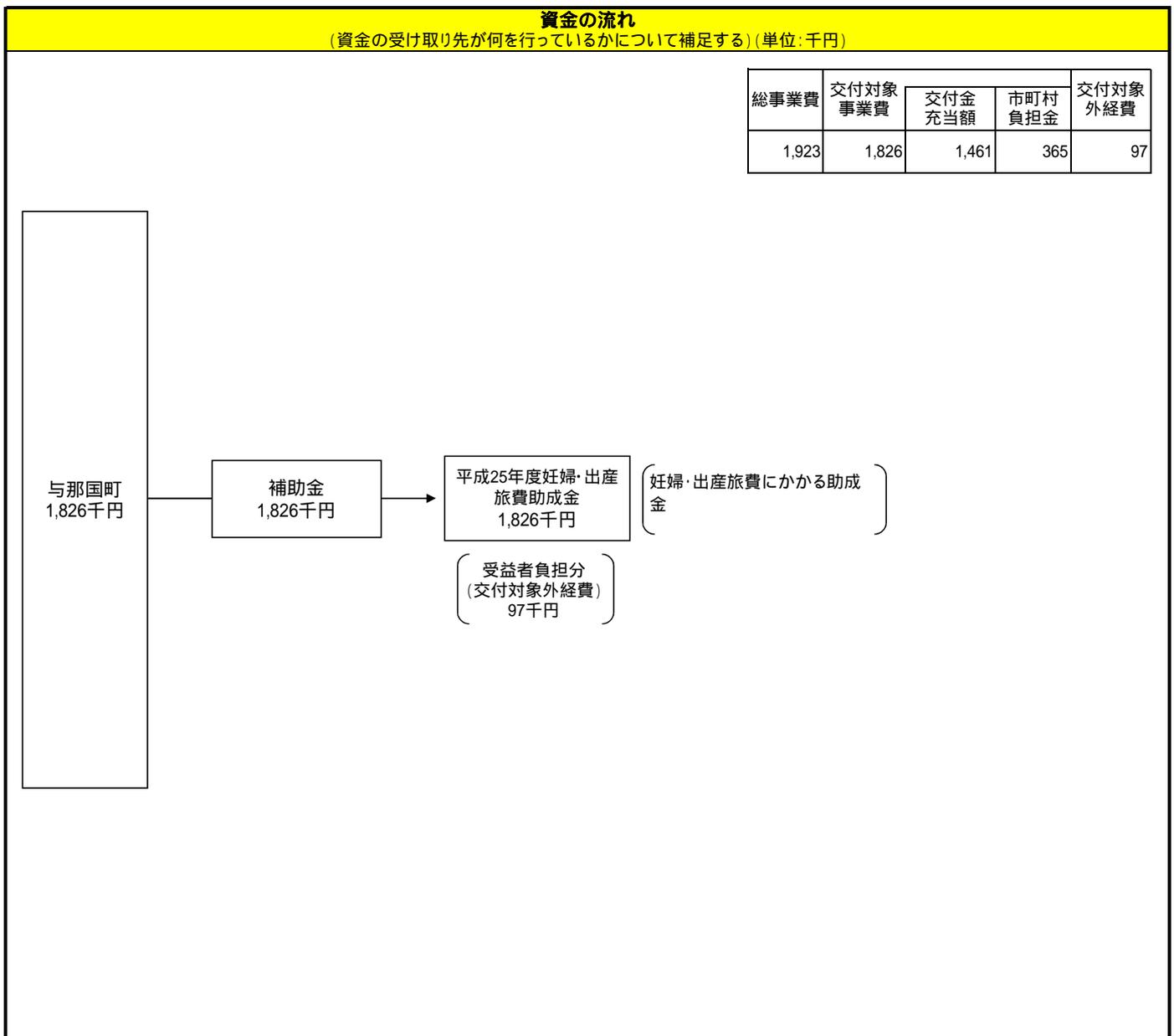
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	本町唯一の居宅介護支援事業が平成24年度3月末で閉鎖したことで、早急に介護支援センターの整備が必要であったが、用地取得交渉に不測の日数を要し、利用者に介護サービスの提供が遅れることとなった。	利用者に今まで以上に更なる安心、安全な介護サービスの提供を図り、高齢者・障害者が生活する上での不安の軽減及び介護に係る家族の負担軽減を図って行く。
	今後の取り組み方針	
<p>今後の取り組みとして、供用開始に伴い平成26年度より社会福祉協議会へ指定管理を行い、利用者に十分な介護サービスの提供が行える体制を整え、高齢者・障害者が生活する上での不安の軽減及び介護に係る家族の負担軽減を図っていく。</p>		



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>購入事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	与那国町						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6	少子高齢化対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 - 4 - (1)	
事業内容	本町の医療機関には、産婦人科を含めた各専門医がいない。本事業では、妊娠から出産までに必要となる専門医による島外診療を受けるために必要な渡航費等の費用の補助を行った。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	1,233	1,507			
		(b)予算現額	1,225	1,826			
		(c)増減額(b-a)	8	319			
		(d)繰越額	-	-			
	A.計(b+d)		1,225	1,826			
	B.執行済額		1,200	1,826			
	うち交付金充当額		960	1,461			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		98.0%	100.0%			
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	妊産婦定期健診の実施	目標	(渡航費補助)	(渡航費補助)	()	()	
		実績	渡航費補助	渡航費補助			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	出産のために専門医に係る島外診察を受けるため、妊娠から出産までに必要となる渡航費等の費用の補助を実施した。また、出産を含む専門的な医療を受ける際にも石垣等の島外に移動する必要があるため、住民の医療全般に係る負担の軽減が出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	妊産婦一人当たり受診回数	目標	(4回)	(8回)	(10回)	()	()
		実績		8回	10回		
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	島外診察のための渡航費補助の実施により、妊娠から出産に係る渡航費等の負担軽減が図られ、安心して子どもを産み育てるための環境整備に寄与した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・妊娠から出産に係る渡航費等の助成を実施したことで、これまで出産に係る渡航費等の負担が軽減され、安心して子供を産み育てる環境の整備が整えられたが、36週以降の妊婦について、出産に備えて沖縄本島で待機する場合の費用について、町全体の事業計画等も鑑みて検証する必要がある。</p>	<p>・今回、妊娠から出産に係る渡航費等の助成を実施したことで、今まで大きな経済的負担となっていた出産に係る渡航費等が軽減されたことで、住民が抱える医療への経済的・心理的負担の軽減が図られた。 ・沖縄本島においての出産する場合の費用について、次年度において事業スキームの改善を図り、安心して子供を産み育てる環境の更なる向上を図る。</p>
今後の取り組み方針		
<p>今後も妊娠から出産ため島外診療に必要とする渡航費等への助成を継続的に実施し、住民が抱える医療への経済的・心理的負担の軽減を図り、安心して子育てを産み・育て・世代を超えて住み続けるために継続して実施していく。</p>		



資金の流 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>妊産婦通院費助成金交付申請より、対象者及び実績を確認の上で決定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

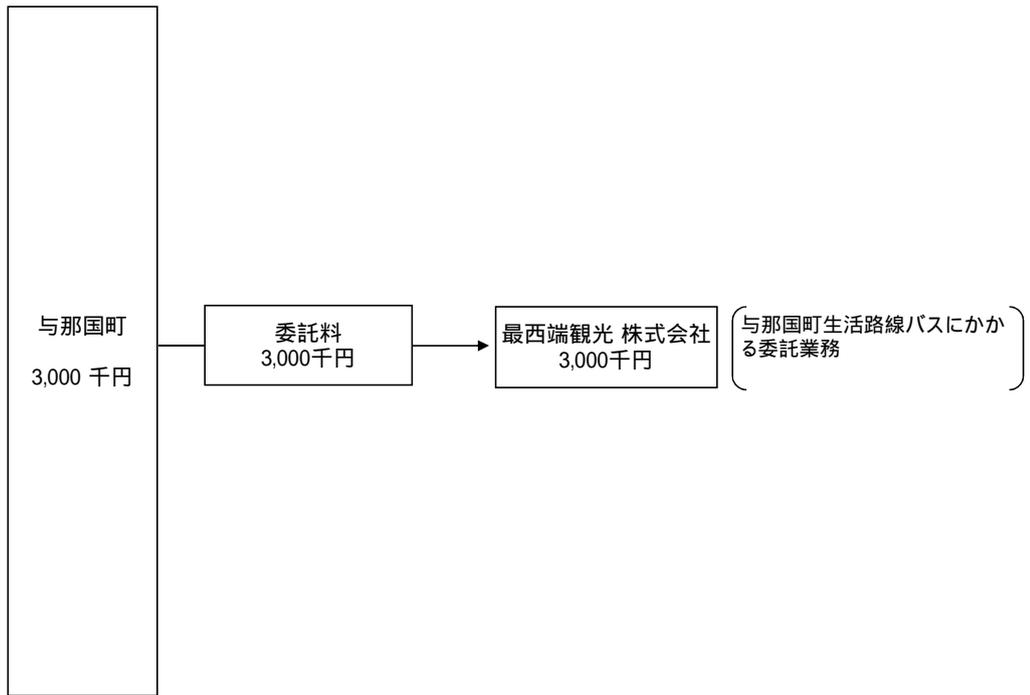
市町村名		与那国町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7 -	公共交通路線支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (11) - ウ	
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化 - 9 - (1)	
事業内容	本町の公共交通は、集落間を結ぶ生活路線バスのみであり、人口規模の小さな本町では、運賃のみで路線を維持することは困難である。地方バス運営に必要な費用を支援することにより、生活路線バスの安定的な運営を維持し、定住条件整備と来島者の利便性向上を図った。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	3,000	3,000			
		(b)予算現額	1,750	3,000			
		(c)増減額(b-a)	1,250	0			
		(d)繰越額	-	-			
	A.計(b+d)		1,750	3,000			
	B.執行済額		1,750	3,000			
	うち交付金充当額		1,400	2,400			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		・活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	公共交通路線バス運行の実施	目標	(路線バス運行実施)	(路線バス運行実施)	()	()	
		実績	路線バス運行実施	路線バス運行実施			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	観光客等及び地域住民の利便性向上をはかりながら、定住するための必要な条件整備をすると共に、住民が定住し続けるために必要な社会生活基盤の維持が出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	公共交通路線バス運行便数	目標	()	(2,556便/年)	(2,500便/年)	()	()
		実績		2,556便/年	2,549便/年		
	〔参考指標〕	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	平成25年度は台風の影響により年間2,549便の運行となったが路線バスの安定的な運航を維持し、運転が困難な高齢者や園児児童生徒及び来島者の利便性向上を図った。					

	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 人口規模が約1,600人と小さな本町では、運賃のみで路線を維持することは困難であることが改めて明らかとなった。 上記のことは、車輛など設備の更新が必要となった場合、更なる支援なしに生活路線の安定的な運航が難しいことが示唆される。 外部環境の変化として、JTAの撤退とRACの増発により、バスの運行と航空機の到着出発の時間帯にずれが生じている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少し続ける現状の中で、今後来島者並びに住民への需要などいかに供給できるか検討し、取り組むことで路線バスの維持に期待できる。 バスの運行時間や便数、路線の見直しにより、利用者の利便性改善が見込まれる。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 利用者数の増加を図るため、「広報よなくに」をはじめ、空港や宿泊施設、飲食店など、機会ある毎に公共交通機関であり生活路線でもある定期バスの利用を呼びかける。 バスの運行時間や路線などを検討し、島内外を含めた利用者の利便性向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,000	3,000	2,400	600	0



資金の流 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	与那国町では現在、大型観光バス業務及びタクシー業務等を行っている業者が1社しかおらず、その1社に委託するのが随意契約の理由である。委託事業者は随意契約方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		与那国町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7 -		ドゥナン・ファンド推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
	担当部課名	総務財政課 企画班		事業実施(予定)年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所
事業内容	島に残る貴重かつ有望な資源を活用した起業や、地域活動の維持・活性化のために必要な支援を提供する「ドゥナン・ファンド」設置に必要な検討を行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	3,903	3,500			
		(b)予算現額	3,675	4,200			
		(c)増減額(b-a)	228	700			
		(d)繰越額	-	-			
		A.計(b+d)	3,675	4,200			
	B.執行済額		3,675	4,200			
	うち交付金充当額		2,940	3,360			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		増額が700千円発生しているが、当初計画していた委託業務内容(旅費の追加)の変更に伴う増額であり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	どうなん町民活動支援ファンド計画の策定	目標	(ドゥナン・ファンド構想の策定)	(ファンド計画の策定)	()	()	
		実績	ドゥナン・ファンド構想の策定	ファンド計画の策定			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	「どうなん・ファンド基本構想」を元に、平成25年度は、「どうなん町民活動支援ファンド」運営事業をスタートさせた。また、ファンド事業のwebサイトを作成すると共に、同サイトによる前述のファンド事業の募集を実施した。さらに、「どうなん事業者支援ファンド」コーディネート事業についても委員会の立ち上げ及びセミナーを開催した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	どうなん町民活動支援ファンド計画の策定	目標	()	(ドゥナン・ファンド構想の策定)	(ファンド計画の策定)	()	()
		実績		ドゥナン・ファンド構想の策定	ファンド計画の策定		
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	与那国町民向けの「どうなん町民活動支援ファンド」実施に向けて委員会を開催し応募のあった3件について検討し、3件とも活動内容に相応しいことから認定し、最初の活動を支援する事業がスタートした。また、3月には委員会を開催し活動報告会を行った。さらに、与那国町の産業振興等の資する町内企業の事業支援に向けた「どうなん事業者支援ファンド」立ち上げに向けて1回目の起業支援に向けてのセミナーを開催した。また、ドゥナン・ファンドwebサイトを構築し情報の発信や募集業務を行った。					

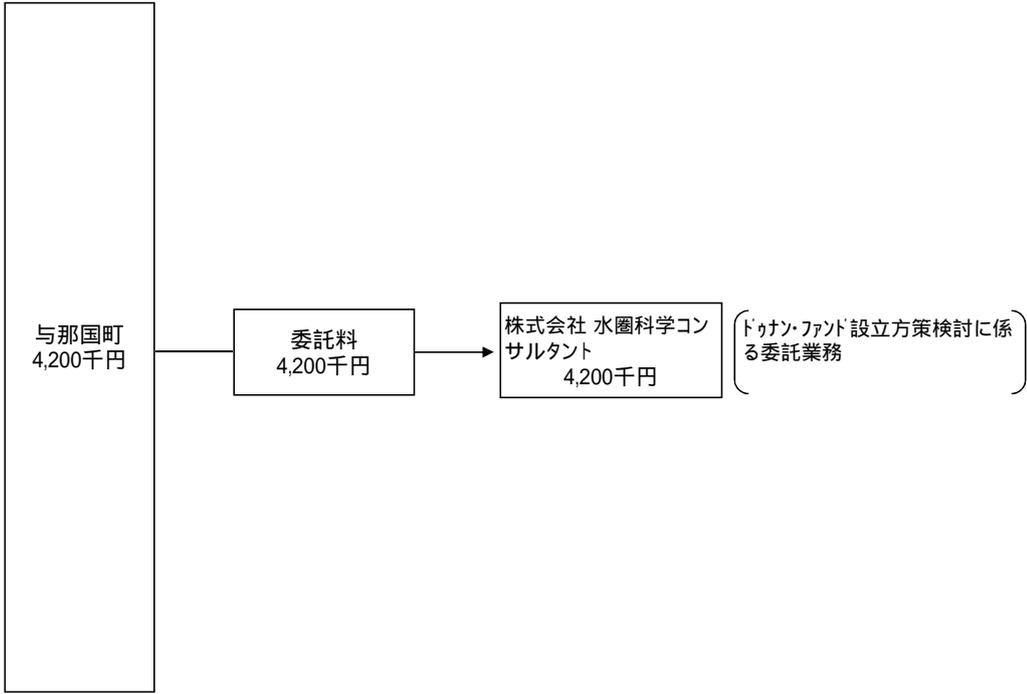
	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・町民活性化に資する活動や事業は既に幾つか行われており、支援のニーズが確認されたが、「古民家再生」等のように雇用の創出に繋がるような事業については、事業化へ向けて資金以外にも支援を必要としていることが明確となった。 ・ファンドの設立に興味や関心を示す一方、実際の支援に関しては具体的な活動や成果など、提案や働きかけ・情報発信の必要が指摘された。 ・特にPRをせず年間300万円もの納税があることは特筆すべきだが、産業振興及び雇用創出に必要な支援や事務局費用及び投資先のサポートに必要な資金規模に対して、ふるさと納税のみでは原資として不十分であることが明確となった。 ・用途を特定しないふるさと納税は「ばんだドゥナン島基金」へ積立、公益性が高く、地域に資する事業へ自由に使うことが可能な状況である一方、同基金の用途を決めるプロセスや審査組織について、規定されていないことは、寄附者の意向を尊重した地域活性化に資する事業の展開を図る上で問題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どうなん・ファンドへの支援を拡げていくためにどうなん・ファンドを通じた町民活動活性化の取組みを積極的に発信・PRしていく必要性が示唆された。 ・基金の原資を確保するためには、寄付金の活用成果をふるさと納税者に知らせることで、ふるさと納税による与那国町支援の輪を拡げていくことが必要である。 ・どうなん・ファンドへの「ばんだドゥナン島基金」の活用には、ふるさと納税の「用途を決めるための透明性の高い審査プロセスの確立」と「活用結果について納税者へのフィードバック」に加え「用途の対象となる、支援事業の掘り起し」を行う必要がある。 ・雇用創出に繋がる事業は、起業と経営支援、金融商品取引法による監査等の作業が生じ、金融機関等、専門家の支援・協力が必要となる。そこで、金融専門家のアドバイザー支援を受けるとともに、地元金融機関と協力して他の投資事業などと組み合わせ、資金にレバレッジを効かせて、資金支援を実施する必要がある。

今後の取り組み方針

平成26年度は、『どうなん町民活動支援ファンド』の2回目の募集や委員会の運営し、今後、当事業が継続的に運営されるよう仕組みの修正や財源の確保等について協議していくとともに、『どうなん事業者支援ファンド』コーディネート事業を実施し、支援対象とするプロジェクトの具体化を図り、起業につなげる支援を実施していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,200	4,200	3,360	840	0



資金の用途の流れ、点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	与那国町
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8 - 与那国町防災情報伝達システム導入事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 2 - (4) - イ
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	H25～H26
		沖縄振興基本方針該当箇所	- 10 - (2)

事業内容
緊急時会議システムの導入及び既存の防災行政無線施設とのマッチングによる住民への情報伝達手段の効率的な連絡体制、情報伝達システムの構築を図った。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a)当初予算額	15,000				
	(b)予算現額	10,080				
	(c)増減額(b-a)	4,920				
	(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)	10,080				
	B.執行済額	10,080				
	うち交付金充当額	8,064				
	次年度繰越額	0				
	執行率(%) (B/A)	100.0%				
	予算の状況の説明	減額が4,920千円発生しているが、入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		25年度	26年度	27年度	28年度
防災情報伝達システム導入の実施	目標	(システム導入の実施)	()	()	()
	実績	システム導入の実施			
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	緊急会議システムの導入により、既存の防災行政無線施設とのマッチングによる住民への情報伝達手段システムを構築し、緊急時における情報伝達手段が確立された。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
		目標	()	(システムの構築)	()	()
	実績		システムの構築			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()
進捗状況説明	緊急時会議システムの導入により、既存の防災行政無線とのマッチングが構築され住民への情報伝達手段の多重化とそれを含めた一般電話回線遮断時における情報伝達リスク分散化の構築が見込まれことで、緊急時における住民、観光客等への情報伝達手段が構築され安心・安全な本町の構築ができる。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	本町における緊急時連絡システムは、防災行政無線しかないことから住民への連絡は役場の施設に出向くしかない。また、災害時等の関係者同士の連絡においても携帯電話のみでの一対一の通話であることから、緊急時の連絡のリスク分散化の必要性から、様々なケースにあった連絡体制、情報伝達システムの構築が必要である。	防災情報伝達システムを構築したことにより、災害時等において住民への速やかな情報伝達が可能となり安心、安全な本町の構築ができる。
	今後の取り組み方針	
平成26年度からの取り組みとして、防災情報伝達システムを活用した防災訓練の実施し、災害時に速やかに、防災情報伝達システムを活用できる体制を図っていく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,080	10,080	8,064	2,016	0

```

graph LR
    A[与那国町  
10,080千円] --> B[委託料  
10,080千円]
    B --> C[NTTビジネスソリューションズ  
株式会社 九州支店]
    C --- D["与那国町防災緊急会議システム  
整備業務にかかる委託業務"]
  
```

資金の流 れ、費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		与那国町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8 - 与那国町安全基盤整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 2 - (4) - イ		
	担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	H25～H26	沖縄振興基本方針該当箇所	- 10 - (2)	
事業内容	与那国町の玄関口である空港・港及び3集落主要箇所へ防犯カメラの設置、及び3集落内の防犯灯(258基)を毎年、襲来する台風により塩害や強風等の損傷が激しい。そのため長寿命で経済性に優れたLED防犯灯に取り替えを実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	12,000				
		(b)予算現額	10,185				
		(c)増減額(b-a)	1,815				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	10,185				
	B.執行済額		10,185				
	うち交付金充当額		8,148				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・減額が1,815千円発生しているが、入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	防犯カメラ設置	目標	(6箇所)	()	()	()	
		実績	8箇所				
	防犯灯設置	目標	(100基)	()	()	()	
		実績	0基				
達成状況説明	与那国町の玄関口である空港・港(祖納港、久部良漁港)・3集落主要箇所及び町内学校(2校)に防犯カメラの設置し、事件、事故時における地域の防犯体制が確立された。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	安全基盤対策委託防犯カメラ設置	目標	()	防犯カメラ設置6箇所	()	()	()
		実績		防犯カメラ設置8箇所			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・当該機器を設置することにより、地域防災の強化並びに観光客等の安心・安全の確保をはかり、安心して住み続けるための条件を整備し、島の活力の維持・発展を繋げる効果が期待できる。 ・与那国町の玄関口である空港・港(祖納港、久部良漁港)・3集落主要箇所へに設置を予定していたが、警察、小中学校と協議を行い町内学校(2箇所)へ防犯カメラを設置したことで箇所数が増となった。また、防犯灯設置については、設置箇所について行政、自治公民館及び警察等との協議を要するため事業を見送ることとなった。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	本町における防犯対策は、住民の生命財産の安全確保と共に、安全・安心な観光地として必要条件でもあり、観光産業の振興にも係わる重要な課題となっていることから、島の全ての人々の安全を確保するためのきめ細やかな防犯体制の強化と構築が必要である。	住民の生命財産の安全確保に努めることができ、きめ細やかな防犯体制の強化と構築された。
今後の取り組み方針		
防犯カメラが設置されたことで、地域防災の強化が並びに観光客等の安心・安全の確保を図り、安心して住み続ける島の活力と維持に努めると共に、適正な維持管理を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	10,185	10,185	8,148	2,037	0
<pre> graph LR A[与那国町 10,185千円] --> B[委託料 10,185千円] B --> C[株式会社 オキジム 10,185千円] subgraph Note D["(防犯カメラ設置業務にかかる委託業務(町内8カ所設置))"] end C --- Note </pre>					

資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		与那国町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8 - 与那国町海域・安心安全方策調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 2 - (4) - イ		
	担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	H25～H26	沖縄振興基本方針該当箇所	- 10 - (2)	
事業内容	国境に面している与那国島での海域を守るため、漁船を町が造船し新規の就漁者や老朽化した漁船の代替船として漁民にリースする事業の仕組み作りなどの設立方策調査を実施した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	5,000				
		(b)予算現額	4,917				
		(c)増減額(b-a)	83				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	4,917				
	B.執行済額		4,917				
	うち交付金充当額		3,933				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・減額が83千円発生しているが、入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	漁船リース事業仕組み作りの調査	目標	()	()	()	()	
		実績	リース事業の調査				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	国境に面している与那国島での海域を守るため、漁船を造船し新規の就漁者や既存就業者へ代替船としてリースする事業の仕組み作りの方策調査したことにより、新規就漁者の掘り起こしや既存就業者の減少に歯止めをかけると共に、国境警備に寄与することが期待できる。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	漁船リース事業仕組み作りの調査結果の公表	目標	()	(調査結果の公表)	()	()	()
		実績		調査結果の公表			
	〔参考指標〕		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	漁船を建造し漁民へリースすることにより、新規就漁者の掘り起こしや既存就業者の減少に歯止めがかかることが期待でき、さらに国境近隣での操業が国境警備に寄与しており、島の海域の安心、安全を国だけに頼るのではなく普段の生活の場の視点から実行するために、漁船リースに向けた仕組み作りを行った。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>現在、尖閣諸島における中国漁船等による領海侵犯問題など他国との紛争、軋轢が表面化してきているが、これらは、日本国がこの海域への立ち入りを制限しており、普段の漁ができる生活の海となっていないことからである。一方、与那国はわずか111キロ先の台湾と国境を接しているが、領海侵犯等の問題や紛争はおきていない。これは、島に人が住み、島の周囲の海域を生活の場として普通に漁をしているからである。しかし、現在漁船を有し日常的にこの海域で漁業を行っている就漁者は約28名程度で島での漁業の衰退が懸念されていることから、新たな就漁者の掘り起こしと既存の就漁者の維持をすることによって与那国島の国境としての海域を守る必要がある。また、漁業者の水揚高が平均200万程度となっており漁船の建造リース、設備機器の更新等い必要とする費用の支援を行う必要がある。</p>	<p>与那国島の国境としての海域を守るために新たな就漁者の掘り起こしと既存の就漁者の維持をすることが重要であるため、漁船を建造し漁民へリースするシステム作りを構築し、漁業者の所得向上及び経営安定を確保し、本町の水産業振興を図り担い手の育成へ繋げていく。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>平成26年度以降取組として、新規就業者及び既存就業者への漁船の建造リース、設備機器の更新等い必要とする費用の支援を行い、新たな就漁者の掘り起こしと既存の就漁者の維持をすることによって与那国島の国境としての海域を守る取り組みを実施する。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	4,917	4,917	3,933	984	0
<pre> graph LR A[与那国町 4,917千円] --> B[委託料 4,917千円] B --> C[株式会社 水圏科学コンサルタント 4,917千円] C --- D["(与那国町漁業担い手育成プラン 検討にかかる委託業務)"] </pre>					

資金の流 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>委託事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当初計画においては、緊急避難タワーの設置を目的としていたが与那国町地域防災計画の確認等の事前調整に不備があったため、業務行程変更が必要となったことから、事業計画に際して、事前調査及び調整を十分に実施する必要がある。また、地域防災計画の見直しにおいて、行政及び民間における具体的な津波被害への対応策がない現状が露呈した。	事業計画に際しては、与那国町総合計画や中長期的な関係計画を十分に精査し、事業の計画及び実施に入ることが必要である。また、当該事業により実施する、地域防災計画の見直しを契機とした今後の取り組みが重要である。
今後の取り組み方針		
事業計画に際しての取り組みとしては、安易な目標設定ではなく、町の総合計画を基本に中長期的な方針を設定した上での事業計画を実施する。また、見直した与那国町地域防災計画に基づき、地域の実情に即した津波緊急避難施設を整備する。併せて、行政としての防災施策を明確にするとともに、地域の防災組織立ち上げに向け重点的に取り組む。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,665	3,665	2,932	733	0

```

graph LR
    A[与那国町  
3,665千円] --> B[委託料  
3,665千円]
    B --> C[株式会社 水圏科学コンサルタント  
3,665千円]
    subgraph Note
    D[与那国町防災計画(津波編)策定にかかる委託業務]
    end
    C --- Note
  
```

資金の流 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		